

5G RedCap USB Dongle

**UNX-35GL**

取扱説明書



# はじめに

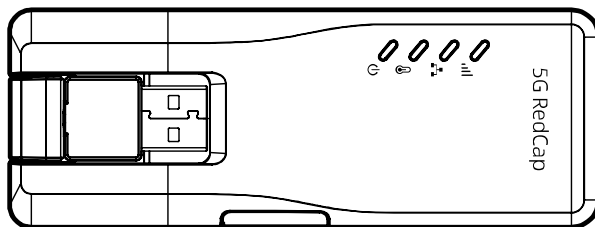
「UNIX-35GL」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

## 取扱説明書について

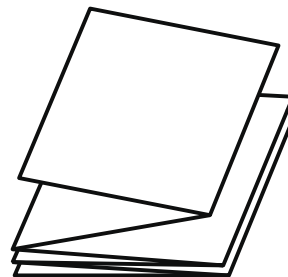
本書においては、「UNIX-35GL」を「本製品」と表記しています。  
本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。  
本書の内容やホームページの URL に関して、将来予告なしに変更することがあります。  
本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。  
本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

## 本体付属品

□ 本体



□ クイックスタートガイド



本製品には次のものが収録されています。

- 設定ツール(Web ブラウザ)
- UNIX-35GL PC Utility
- 各種ドライバー
- 取扱説明書(PDF)・・・本書

# 目次

はじめに .....	1
取扱説明書について .....	1
本体付属品 .....	1
目次 .....	2
本製品のご利用について .....	4
UNIX-35GL の主な機能 .....	5
安全上のご注意(必ずお守りください) .....	7
取り扱い上のご注意 .....	18

## 1

### ご使用前の確認

各部の名称と機能 .....	22
SIM カードの取り付け方 .....	25
SIM カードの取り外し方 .....	25
デュアル SIM について .....	26
本製品の電源について .....	27
本製品をパソコンに取り付ける(電源を入れる) .....	28
LED ランプ .....	29
電力モードについて .....	31
対応機器について .....	33

## 2

### 各種機能を設定 する (Web ブラウザ)

設定ツールについて .....	36
設定ツールの起動とログイン .....	36
設定ツールの画面 .....	38
WAN 設定 .....	41
LAN 設定 .....	51
セキュリティ .....	61
システム .....	64

# 3

## USB モデムモード で接続する

USB モデムモードについて .....	73
USB モデムモードを設定する .....	73
UNIX-35GL PC Utility をインストールする .....	74
UNIX-35GL PC Utility をアンインストールする .....	78
各種機能を設定する (UNIX-35GL PC Utility) .....	79
UNIX-35GL PC Utility の画面 .....	79
セキュリティ .....	82
ネットワーク .....	87
システム .....	91
モバイルブロードバンドを使う (Windows) .....	98
ブリッジモード (イーサネットポート) を使う .....	104

# 4

## 付録

故障かな？と思ったら .....	108
エラーコード .....	110
メニュー一覧 (Web ブラウザ) .....	112
メニュー一覧 (UNIX-35GL PC Utility) .....	118
仕様 .....	121
本製品の比吸収率 (SAR) などについて .....	122
輸出管理規制 .....	125
知的財産権について .....	125
その他 .....	126
携帯電話 / PHS のリサイクルについて .....	126
お問合せ先 .....	127

# 本製品のご利用について

- 本製品は、5G(RedCap)・4G(LTE)方式に対応している SIM ロックが設定されていない SIM フリーの製品です。
- 5G は特定の国の特定の通信事業者で利用できます。速度は使用する場所の条件と通信事業者によって変わります。5G 対応の詳細については通信事業者にお問い合わせください。
- 本製品は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5G サービスエリアおよび LTE サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強く 5G/4G ランプが点灯している状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本製品は防水/防塵性能を有しておりません。湿気やほこりの多い場所でのご使用はおやめください。
- お客様ご自身で本製品に設定されたデータは、定期的にメモを取る、パソコンなどの外部記録媒体に保管していただくようお願いします。本製品の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、設定された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。
- データ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
- 紛失に備え本製品のパスワードなどの設定を変更の上保管いただき、本製品のセキュリティを確保してください。
- 市販品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様が本書の記載内容を守られないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記憶内容の変化・消失・事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

# UNIX-35GL の主な機能

本製品は、第 5 世代移動通信システムである 5G RedCap および 4G(LTE)に対応しています。5G では、電波帯「Sub6(6GHz 未満の周波数帯)」に対応しています。

本製品は、以下の 3 つのモードに対応しています。

- ・モデムモード : USB プラグをパソコンに接続してデータ通信を行います。
- ・ルーターモード : USB プラグまたは LAN ケーブル(市販品)を接続し、データ通信を行います。
- ・ブリッジモード : イーサネットポートに接続する機器へアドレス変換を行わず WAN の IP アドレスをブリッジ接続することができます。

利用環境に応じて、最適なモードを選択してご利用いただけます。

## 【5G RedCap の概要】

5G RedCap(NR-Light) は、標準的な 5G(New Radio)の機能を簡素化し、低消費電力化・低コスト化を実現した通信方式です。

高速・大容量通信を必要としない IoT デバイスでも、効率的に 5G ネットワークを利用できるよう設計されています。

## 【5G RedCap 利用エリア外での接続】

5G RedCap サービスが提供されていないエリア、または電波状況が不安定な場合は、自動的に 4G(LTE)ネットワークへ切り替わり、通信を継続します。

## 【通信速度について】

標準的な 5G(New Radio)と比較して、周波数帯域幅が 100MHz から 20MHz に制限されるため、通信速度は低下します。

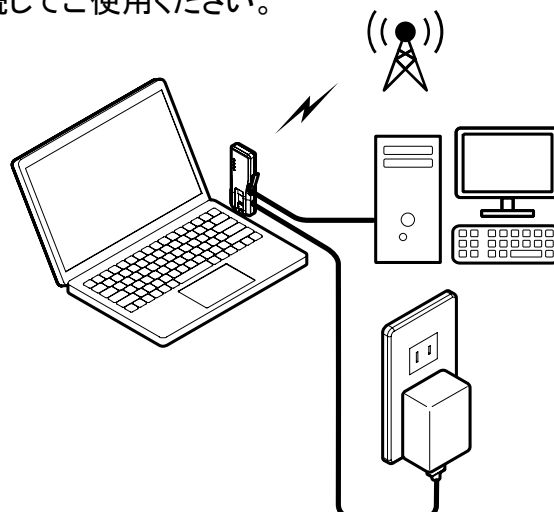
4G(LTE)接続時は、利用中の LTE ネットワーク規格に基づいた通信速度となります。

## ■ ルーターモード

本製品の USB プラグをパソコンに接続して使用することができます。

本製品とパソコンなどを LAN ケーブル(市販品)で接続してデータの送受信ができます。

イーサネットポートを使用する場合は、必ず AC アダプタ(市販品)をご用意していただき、本製品の DC IN 5V ポートに接続してご使用ください。



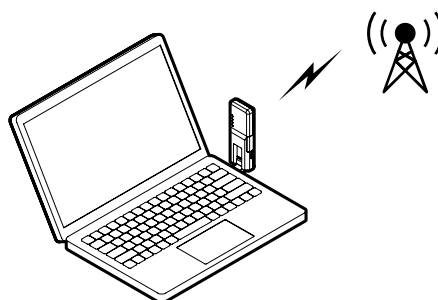
## ■ USB モデムモード

USB モデムモードはアドレス変換を行わず、WAN の IP アドレスをブリッジ接続することができます。



### 注意

- USB モデムモードでは LAN ケーブル（市販品）を接続してデータの送受信はできません。



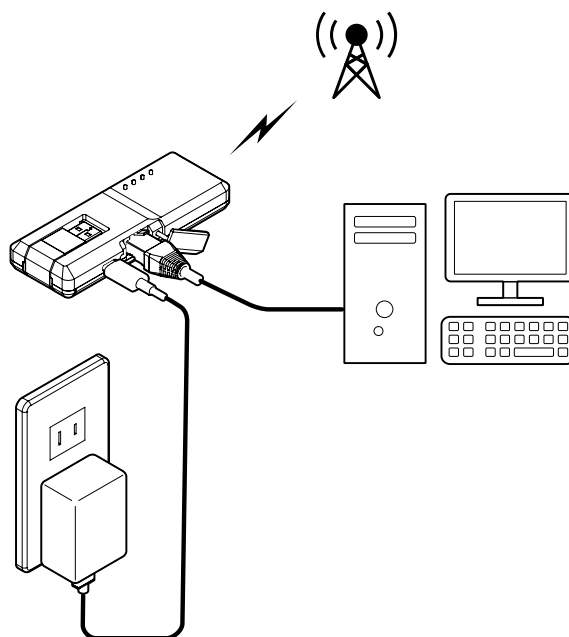
## ■ ブリッジモード（イーサネットポート）

ブリッジモードはイーサネットポートに接続する機器（パソコンなど）へアドレス変換を行わず、WAN の IP アドレスをブリッジ接続することができます。






### 注意

- ブリッジモードでは LAN ケーブル（市販品）で接続できる機器は 1 台です。
- USB プラグをパソコンなどに接続してデータの送受信はできません。



# 安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。







 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 <sup>(※1)</sup> を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 <sup>(※1)</sup> を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 <sup>(※2)</sup> を負う可能性が想定される場合および物的損害 <sup>(※3)</sup> の発生が想定される」内容です。

※1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 <b>禁止</b>	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
 <b>分解禁止</b>	分解してはいけないことを示す記号です。
 <b>水濡れ禁止</b>	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 <b>濡れ手禁止</b>	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 <b>指示</b>	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 <b>電源プラグを抜く</b>	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。



## 本製品、LAN ケーブル(市販品)、AC アダプタ(市販品)、SIM カードの取り扱いについて (共通)



### 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具やパソコンなどの機器のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本製品を引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー、スプレー、ガスなど)や燃えやすいもの(紙、ビニールなど)、熱に弱いものの近くで使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、使用しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

USB プラグ/DC IN 5V ポートの端子やイーサネットポートの端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

市販品は、当社が推奨したものを使用してください。

推奨したものの以外のもを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



## 警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

USB プラグ／DC IN 5V ポートの端子やイーサネットポートの端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- USB プラグ、および DC IN 5V ポートに接続されているケーブルを接続機器から抜く。
- 接続機器の電源を切る。
- LAN ケーブルを接続機器から抜く。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



## 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

傷害などの原因となる場合があります。



本製品を継続してご使用になる場合は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

長時間の使用は、本製品の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

---

## 本製品の取り扱いについて



### 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。  
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。  
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。  
本製品内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



### 警告



禁止

本製品内の SIM スロットの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。  
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。  
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。  
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。  
※ ご注意いただきたい電子機器の例  
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

破損した際には、破損部や露出した本製品の内部にご注意ください。  
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。  
発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

---



## 注意

---



一般のゴミと一緒に捨てないでください。  
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。  
不要となった本製品は、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

---



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。  
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

---



本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。  
各箇所の材質については以下をご参照ください。  
→「材質一覧」(P.17)

---

## AC アダプタ(市販品)、USB Type-C ケーブル(市販品)、LAN ケーブル(市販品)の取り扱いについて



### 警告



禁止

AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントや接続機器につないだ状態で端子をショートさせないでください。また、端子に手や指など、体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントに AC アダプタを抜き差しするときや接続機器に USB ケーブルや LAN ケーブルを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

AC アダプタに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本製品に AC アダプタを接続した状態や接続機器に USB ケーブルや LAN ケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルのコードを本製品などに巻き付けないでください。

断線による火災や感電の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で AC アダプタのコードや USB ケーブル、電源プラグ、LAN ケーブルに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で使用する場合は、海外で使用可能な AC アダプタを使用してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

端子についたほこりは、拭き取ってください。  
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

AC アダプタの電源プラグをコンセントに差し込むときや USB ケーブルや LAN ケーブルを接続機器に差し込むときは、確実に差し込んでください。  
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く場合や USB ケーブル、LAN ケーブルを接続機器から抜く場合は、AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、AC アダプタやコネクタを持って抜いてください。  
AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本製品に AC アダプタを抜き差しする場合や接続機器に USB ケーブルや LAN ケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。  
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。  
端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。市販の AC アダプタや USB ケーブルをご使用の場合は仕様をお確かめの上、必ず推奨のものをご使用ください。  
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。また、取扱いを誤ったために生じた AC アダプタや接続機器などの故障については弊社では責任を負いかねます。



指示

市販の AC アダプタで使用される際は、AC アダプタに損傷がないか確認し、異常のある AC アダプタは絶対に使用しないでください。また、お使いになる AC アダプタの取扱説明書もあわせてお読みのうえ、正しくご使用ください。



指示

USB ケーブルが傷んでいたり、AC アダプタなどへの挿し込みがゆるいときは、直ちに使用を中止し、新しい USB ケーブルに取り換えてください。また、本体への挿し込みがゆるい場合も使用を中止してください。  
そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。



電源プラグ  
を抜く

使用しない場合は、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。  
また、USB ケーブルや LAN ケーブルを接続機器から抜いてください。  
AC アダプタを差したまま放置したり、USB ケーブルや LAN ケーブルを接続したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ  
を抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、USB ケーブルや LAN ケーブルを接続機器から抜いてください。  
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、USB ケーブルや LAN ケーブルを接続機器から抜いて行ってください。  
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

---



## 注意

---



コンセントにつないだ状態で AC アダプタに継続して触れないでください。  
やけどなどの原因となります。

---



## SIM カードの取り扱いについて



### 注意



指示

SIM カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

## 医用電気機器の近くでの取り扱いについて



### 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を 15cm 以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

## 材質一覧

### 端末

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース（上部、下部、側面）	PC 樹脂+ABS 樹脂／塗装
LED レンズ	PC 樹脂
USB プラグ	鉄／ニッケルメッキ
USB プラグ回転部	亜鉛合金／ニッケルテフロンメッキ
DC IN 5V ポートの周囲 （内側側面）	ステンレス
イーサネットポート（端子部）	リン青銅／銀、錫メッキ
イーサネットポート（金属部）	黄銅／ニッケルメッキ

### ギフトボックス

使用箇所	材質
ギフトボックス	ポリプロピレン

# 取り扱い上のご注意

## 共通のお願い

- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)をかけないでください。  
本製品、SIM カード、一般的な USB Type-C ケーブル(市販品)や AC アダプタ(市販品)は防水性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。  
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。  
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。  
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。  
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。  
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりすると内部基板などの故障、破損の原因となります。  
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタの故障、破損の原因となります。
- AC アダプタ(市販品)をご使用される場合は、推奨品:DC 5V/1.5A 以上のものを使用してください。  
推奨品以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。→(P.27)
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障、破損の原因となります。

## 本製品についてのお願い

- 引っかかりたりしないでください。  
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。  
環境条件に記載されている温度範囲「仕様」(P.121)でご使用ください。
- 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本製品に設定された内容は、パソコンなどにバックアップしたり、別にメモを取るなどして保管してください。  
万が一設定された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。  
故障、破損の原因となります。
- 使用中に本製品が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 通常は裏面カバーを閉じた状態でご使用ください。  
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

## 市販の AC アダプタを使用する場合のお願い

- メーカーの取扱説明書に記載されている使用温度範囲内で使用してください。
- 次のような場所では、使用しないでください。
  - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ・ 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- 使用中に AC アダプタ（市販品）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、プラグを変形させないでください。  
故障の原因となります。

## SIM カードについてのお願い

- SIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他の IC カードリーダー／ライターなどに SIM カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC 部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。  
IC 部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、SIM カードに登録されたデータは、別にメモを取るなどして保管してください。  
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- IC 部分を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。  
データの消失、故障の原因となります。
- SIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障の原因となります。
- SIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。  
故障の原因となります。
- SIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けしないでください。  
故障の原因となります。

## 注意

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、及び電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を遵守しており、その証として「技適マーク㊿」が本製品の裏面カバーを外した状態のラベルに表示されております。

本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 使用中、本製品の表面温度が上昇すると、温度上昇警告ランプが橙点滅または赤点灯することがあります。そのような場合、継続して触れることがないようにご注意ください。

やけどの原因となります。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

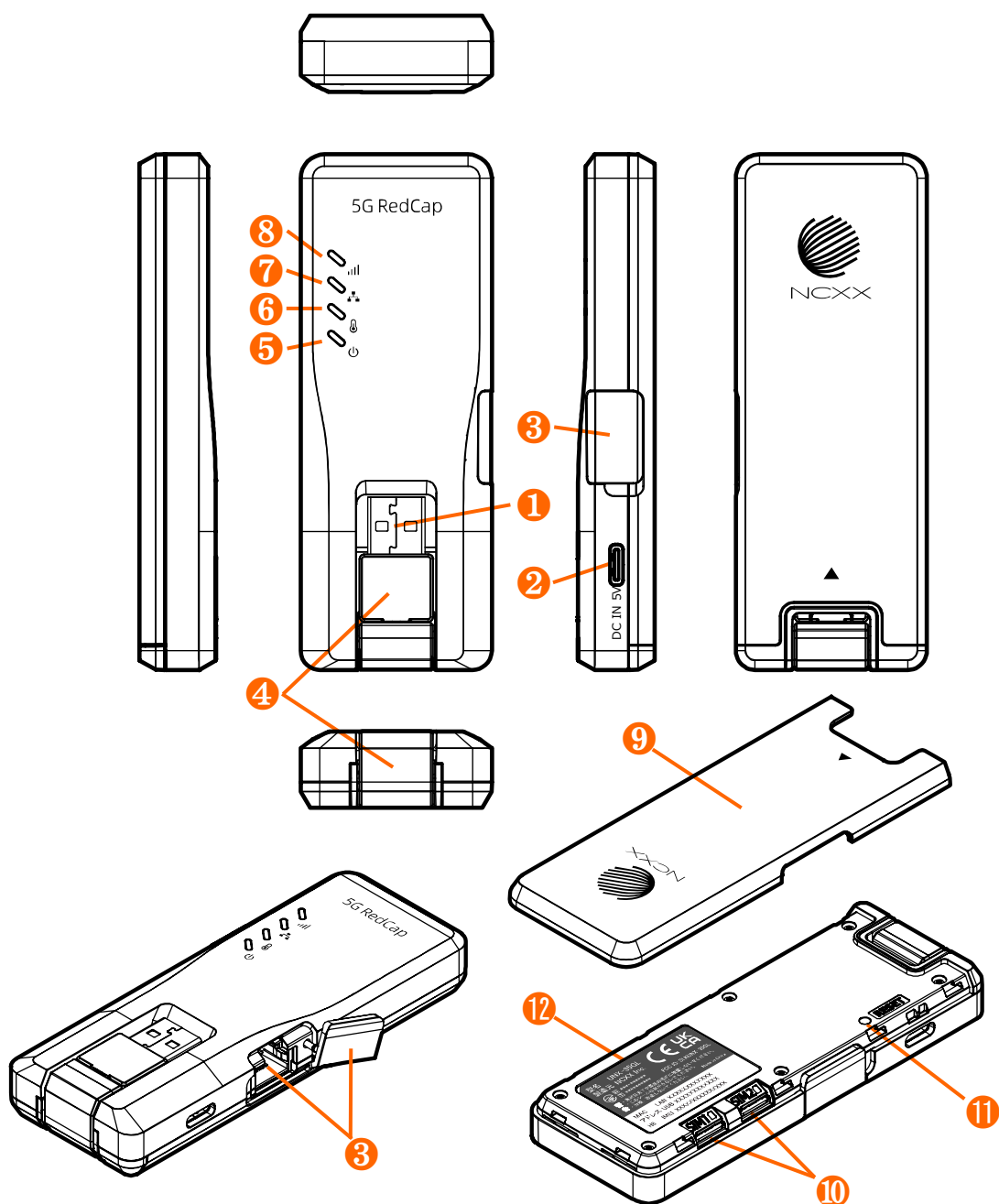
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

# 1

## ご使用前の確認

各部の名称と機能 .....	22
SIM カードの取り付け方 .....	25
SIM カードの取り外し方 .....	25
デュアル SIM について .....	26
本製品の電源について .....	27
本製品をパソコンに取り付ける(電源を入れる) .....	28
LED ランプ .....	29
電力モードについて .....	31
対応機器について .....	33

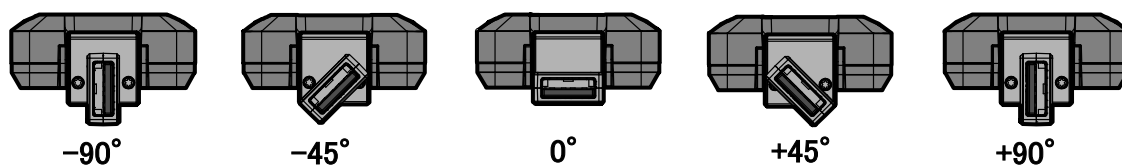
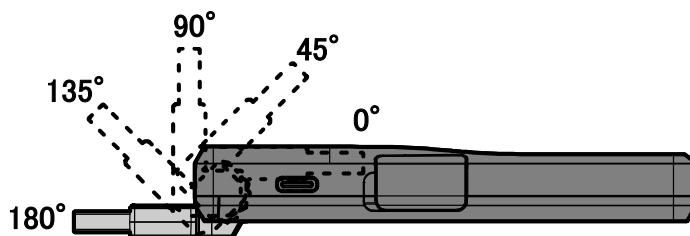
## 各部の名称と機能



### USB プラグ回転部

垂直方向:

水平方向:



**① USB プラグ**

パソコンの USB ポートに接続します。

**② DC IN 5V ポート(Type-C コネクタ)**

Type-C ケーブルを介して AC アダプタに接続します。(共に市販品)

**③ LAN カバー (イーサネットポート)**

LAN カバーを開けて、イーサネットポートに LAN ケーブル(市販品)を接続します。

**④ USB プラグ回転部**

垂直:0° /45° /90° /135° /180° 、水平:0° /-90° /-45° /+45° /+90° に可動  
上記の角度以上に無理に回転させようとする、本製品が破損する恐れがあります。  
本製品をご使用にならない場合は、USB プラグを製品内に収納してください。

**⑤ 電源ランプ**

電源の状態を示すランプです。

**⑥ 温度上昇警告ランプ**

本製品の温度が上昇し、通信制限や通信停止した状態を示すランプです。

**⑦ イーサネットランプ**

イーサネットポートの状態を示すランプです。

**⑧ 5G/4G ランプ**

受信している電波の種類や強度を示すランプです。

**⑨ 裏面カバー**

SIM カードの付け外し、リセットボタン操作を行うときに取り外します。

**⑩ SIM1/SIM2 スロット**

nanoSIM カードを挿入します。

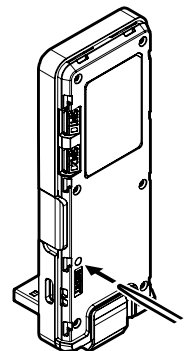
優先 SIM 設定の初期値は SIM1となっております。SIM が1枚の場合、SIM1 に挿して  
ご使用ください。

**⑪ リセットボタン**

本製品の電源が入っている状態で、ボタンを押す時間により以下の動作を行います。  
長押し操作は初期化を伴うため、誤って押し続けないうご注意ください。

短押し(約1～5 秒) : 設定を保持したまま再起動を行います。

長押し(5 秒以上) : 出荷時設定に初期化されます。



**⑫ ラベル**

IMEI 番号、USB/LAN(イーサネットポート)の MAC アドレスなどを確認できます。





### 注意

- 裏面カバーを外した本製品には、IMEI 情報(端末識別番号)などを印刷したラベルが貼られています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI 番号が必要となりますので、シールをはがさないでください。

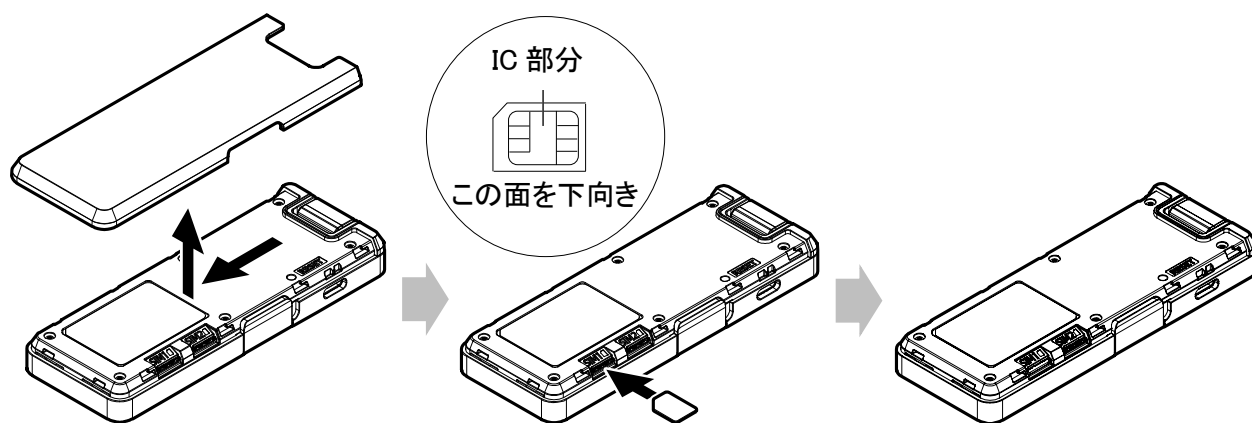


### お知らせ

- 本製品は可能な限り、垂直に立てて、「5G RedCap」、ロゴ「NCXX」を上にしてご使用ください。5G/4G のアンテナの電波状態が良くなります。
- 本製品の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すときは、本製品の電源が入っている状態で、先の細いもの(例: つまようじなど)でリセットボタンを 5 秒以上押す。本製品が自動的に再起動し、LED ランプが水色(シアン)点滅(同じ間隔で点灯⇄消灯)したのち、お買い上げ時の出荷時設定の状態に戻ります。

## SIM カードの取り付け方

本製品のSIM1/SIM2スロットには、nanoSIM(4FF)規格のカードのみご利用になれます。  
SIMカードの取り付け／取り外しは、USBプラグ／DC IN 5V ポート未挿入時(電源OFF)に行ってください。



① 裏面カバーの矢印の向きに従って裏面カバーをスライドし、取り外します。

② 図に従って SIM カードの IC 部分を下向きにして、SIM カードをカチッと鳴るまで奥に挿し込みます。

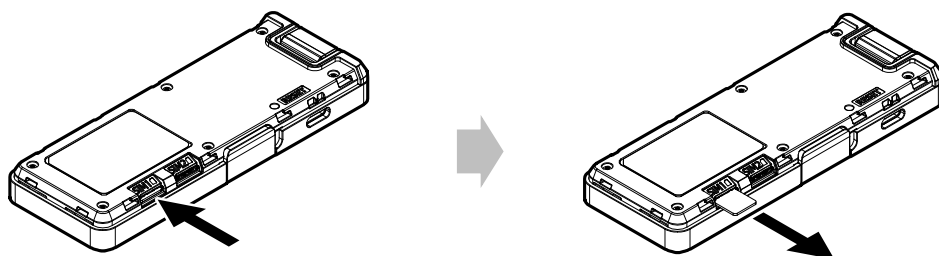
③ 奥まで挿し込んだことを確認し、①と逆の要領で裏面カバーを取り付けてください。



### 注意

- 優先 SIM 設定の初期値は SIM1 となっております。SIM を 1 枚で使用する場合は、SIM1 スロットへ挿入してください。

## SIM カードの取り外し方



① 図に従って SIM カードをカチッと鳴るまで奥に押します。

② 図の向きに従ってSIMカードをスライドし、取り外します。



### 注意

- SIM カードを取り扱うときは、IC 部分に触れて傷つけないようにご注意ください。
- SIM カードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、SIM カードが破損することがありますのでご注意ください。
- サイズの異なるもの、標準サイズの SIM を nanoSIM サイズにカットしたものなどを使用しないでください。破損や故障の原因となります。
- 取り外した SIM カードは、なくさないようご注意ください。

## デュアル SIM について

本製品のSIMは、DSSS「Dual SIM Single Standby(デュアルSIM シングル スタンバイ)」方式となり、2つのSIMを入れられますが、どちらか片方のみが有効になります。

2つのSIMを入れた場合は、優先させるSIMを選択し、自動切替えの有効／無効の設定を行うことができます。

## 本製品の電源について

本製品の電源は、以下の2つから供給することができます。

### ■ USB プラグ

パソコンの USB ポートから、本製品 USB プラグへの電源供給。

USB2.0 対応のポートは供給能力が低い場合がありますので、USB 5Gbps(USB 3.2 Gen1)対応のポートを推奨します。

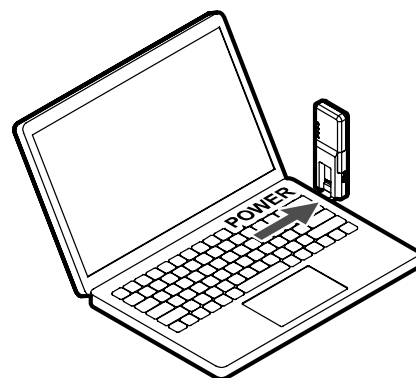


#### 注意

本製品は USB ポートからの電源供給によって動作します。ただし、以下の条件下では正常に起動しない場合があります。

- 使用する USB ポートの電流供給能力が不足している場合
- パソコンの「スリープ中の USB 給電」設定が有効になっている場合

上記の症状が発生する場合は、別の USB ポートを使用するか、パソコン設定で「スリープ中の USB 給電」を無効にしてください。



### ■ DC IN 5V ポート

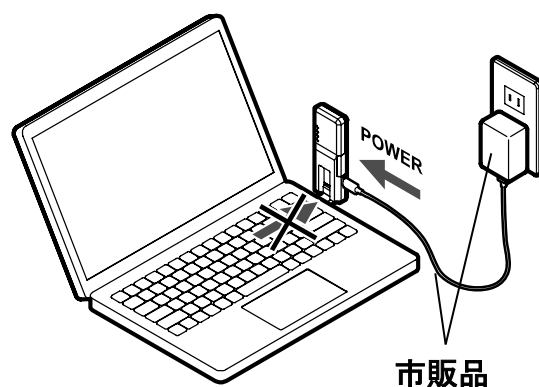
AC アダプタ(DC 5V/1.5A 以上)から Type-C ケーブル(共に市販品)を介して、本製品の DC IN 5V ポートへの電源供給。

本製品では DC IN 5V ポートからの電源供給が優先されるため、パソコンの USB ポートから本製品へ電源供給中に DC IN 5V ポートに AC アダプタを接続した場合には AC アダプタからの電源供給に切り換わります。



#### 注意

- AC アダプタは DC 5V/1.5A 以上のものをご使用ください。
- AC アダプタを DC IN 5V ポートに接続したとき、または取り外したときには再起動する場合があります。

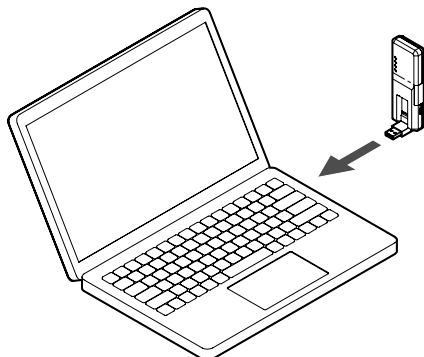


#### お知らせ

- AC アダプタ(5V/1.5A 以上)と Type-C ケーブル(共に市販品)は、お客様でご用意ください。Type-C ケーブルは 1m 以下を推奨します。

## 本製品をパソコンに取り付ける(電源を入れる)

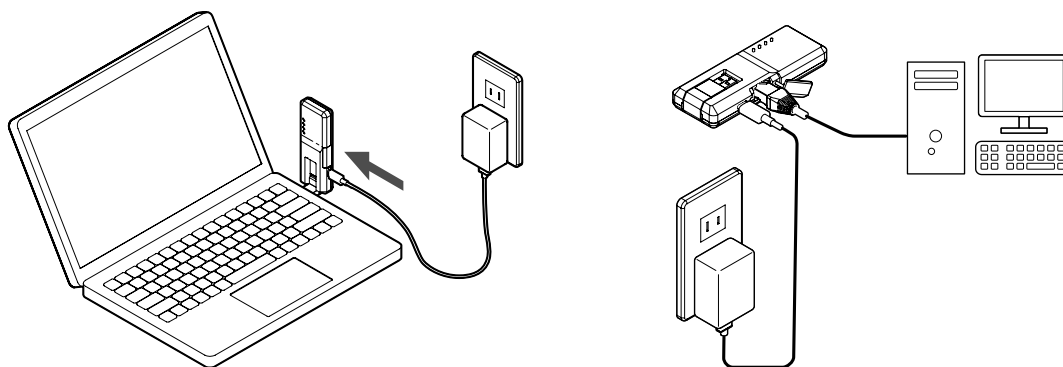
本製品のUSBプラグをパソコンのUSB Type-A ポートに接続します。



### ⚠ 注意

- パソコンの USB ポートに接続したまま持ち運ぶと、USB プラグなどに無理な力が加わり、故障の原因となります。

または、ACアダプタのUSB Type-Cプラグを本製品のDC IN 5V ポートに接続します。

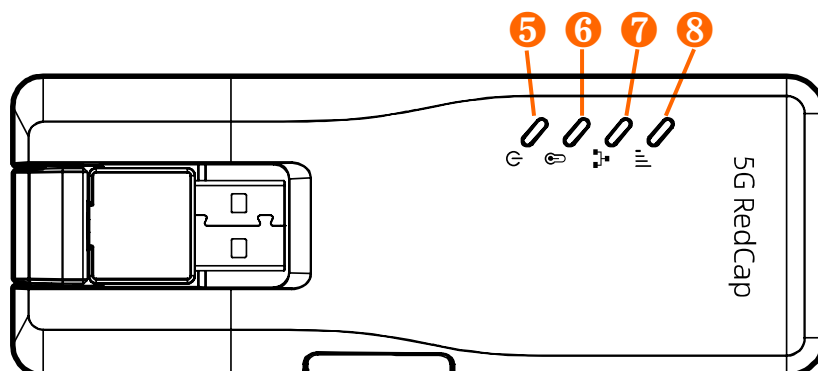


### 📢 お知らせ

- USB プラグは、奥までまっすぐに差し込んでください。
- パソコンが本製品を認識するのに約 40 秒程度かかります。

## LED ランプ

LEDランプの点灯色や点灯パターンによって、本製品の状態などの情報を知ることができます。



### ⑤ 電源ランプ

端末の状態			色と点灯パターン
起動中			水色(シアン)点灯
電源 状態	DC IN 5V ポート接続状態		青点灯
	USB プラグ 接続状態	7.5W モード状態	緑点灯
		4.5W モード状態	橙点灯
工場リセット			水色(シアン)点滅 (同じ間隔で点灯⇔消灯)
FW アップデート更新中			水色(シアン)⇔青点滅 (同じ間隔で交互に点灯)

### お知らせ

- USB プラグ接続状態の 7.5W モード状態と 4.5W モード状態の詳細は「
- 電力モードについて」(P.31)を参照してください。
- 「DC IN 5V ポート」と「USB プラグ」の同時接続時は、「DC IN 5V ポート」の電源供給が優先され青点灯となります。

### ⑥ 温度上昇警告ランプ

端末の状態	色と点灯パターン
高温による通信停止中	赤点灯
高温による通信制限中	橙点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)
正常な温度	消灯

## ⑦ イーサネットランプ

端末の状態		色と点灯パターン
リンク速度	1000Mbps	緑点灯
	100Mbps	橙点灯
イーサネット オフ/リンク切断		消灯

## ⑧ 5G/4G ランプ

端末の状態		色と点灯パターン
5G	Level 5、Level 4	青点灯
	Level 3	青点滅(長い点灯⇔短い消灯)
	Level 2	青点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)
	Level 1	青点滅(短い点灯⇔長い消灯)
4G	Level 5、Level 4	緑点灯
	Level 3	緑点滅(長い点灯⇔短い消灯)
	Level 2	緑点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)
	Level 1	緑点滅(短い点灯⇔長い消灯)
圏外/スタンバイ		赤点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)
PIN ロック/SIM カード認識エラー		赤点灯
ME-PIN ロック		橙点灯



### 注意

- 温度上昇警告ランプが橙点滅または赤点灯した場合は継続して触れないでください。やけどの原因になります。



### お知らせ

- ME-PIN とはセキュリティを向上させるため、本製品の起動時に 5G/4G の通信を停止(ロック)することができる機能です。

## 電力モードについて

本製品は USB プラグにパソコンや AC アダプタ(市販品)などを接続して本製品が起動したときに、パソコンや AC アダプタなどの USB ポートからの電源供給能力を自動で検出して、電源供給能力に合わせた電力モードで動作します。

### ■ 各電力モードについて

以下のような接続を行ったときにそれぞれの電力モードが検出されます。

#### 7.5W モード:

製品に十分な電力(7.5W 以上)が供給されている場合、正常に動作します。

接続先	概要
パソコンの USB Type-A ポート	USB CDP 対応(7.5W 以上の供給能力)の USB Type-A のポートに接続した場合。
AC アダプタ	USB Battery Charge 規格に対応しており、DC 5V/1.5A(7.5W)以上の供給能力があるもの(市販品)。

#### 4.5W モード:

このモードでイーサネット通信する場合は、電力不足による不安定動作となることがあります。

接続先	概要
パソコンの USB Type-A ポート	USB 5Gbps(USB 3.2 Gen1)、または USB2.0 対応の USB Type-A のポートに接続した場合。



### 注意

- 電力不足による不安定な動作  
特に USB 2.0 SDP (Standard Downstream Port) の USB Type-A ポートに接続した場合、電力が不足してデータ通信が不安定になることがあります。  
【対策】DC IN 5V ポートに AC アダプタを接続してご使用ください。
- 延長ケーブルの使用について  
本製品とパソコンまたは AC アダプタの間に長い延長ケーブルを使用すると、電圧降下により本製品の動作が不安定になることがあります。  
【推奨】延長ケーブルは 1m 以下のものをご使用ください。
- パソコンがスリープ中に USB ポートから他の機器へ給電する設定が有効な場合、本製品の動作が不安定になることがあります。  
【対策】別の USB ポートを使用するか、パソコンの設定で「スリープ中の USB 給電」を無効にしてください。



## ■ 各モードによる動作制限

各モードでの動作の制限は以下のとおりです。

電源接続	電源状態 (表示色)	動作モード	インターネット通信	
			USB	イーサネット
USB プラグ	7.5W (緑)	ルーターモード	○	○
		USB モデムモード	○	×
		ブリッジモード	×	○
	4.5W (橙)	ルーターモード	○	○
		USB モデムモード	○	×
		ブリッジモード	×	○
DC IN 5V ポート	7.5W (青)	ルーターモード	×	○
		USB モデムモード	×	×
		ブリッジモード	×	○
USB プラグ + DC IN 5V ポート	7.5W (青)	ルーターモード	○	○
		USB モデムモード	○	×
		ブリッジモード	×	○

上記表において、表示の確認方法、各設定方法については以下を参照してください。

「電源状態」の表示、及び、LED 表示の確認方法は、

- ・LED 表示の確認 → 「LED ランプ」(P.29)
- ・設定ツールでの確認 → 「設定ツールの画面」(P.38-39)
- ・UNIX-35GL PC Utility での確認 → 「UNIX-35GL PC Utility の画面 電源状態」(P.79-80)

「動作モード」において、ルーター／USB モデムを変更する場合は、

- ・設定ツールを使用した場合 → 「動作モード」(P.64)
- ・UNIX-35GL PC Utility を使用した場合 → 「動作モード」(P.93)

「動作モード」において、ブリッジモードを変更する場合は、

- ・UNIX-35GL PC Utility を使用した場合 → 「ブリッジモード」(P.93)

「イーサネット通信」において、有効／無効を変更する場合は、

- ・設定ツールを使用した場合 → 「イーサネットインタフェース」(P.65)

## 対応機器について

### ■ USB プラグに接続して通信できる機器

USB CDP 対応(7.5W の供給能力以上)、および USB 5Gbps(USB 3.2 Gen1)、または USB2.0 規格に対応した USB Type-A のポートが装備されたパソコン。



#### お知らせ

- USB2.0 対応のポートは供給能力が低い場合がありますので、USB 5Gbps(USB 3.2 Gen1)対応のポートを推奨します。

本製品は RNDIS、ECM、MBIM、PPP の複数の通信方式(インターフェース)に対応しています。ただし、使用する OS や動作モードによって、利用される通信方式が異なります。お客様がご利用になる主要な OS ごとの対応状況を、以下の表にまとめます。

#### ルーターモード

OS	対応バージョン	対応する通信方式
Windows	10 (32/64bit), 11 (64bit)	RNDIS
macOS	11~15 (64bit)	ECM
Chrome OS	全て	RNDIS
Linux	Ubuntu 20, 22, 24	RNDIS、ECM
Raspberry Pi OS	全て	RNDIS、ECM

#### USB モデムモード

OS	対応バージョン	対応する通信方式
Windows	10 (32/64bit), 11 (64bit)	MBIM
Linux	Ubuntu 20, 22, 24	MBIM、ECM、PPP
Raspberry Pi OS	全て	MBIM、ECM、PPP

### ■ イーサネットポートに接続して通信できる機器

IEEE802.3ab(1000BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)に対応したイーサネットポートが装備されている機器と接続できます。

市販の LAN ケーブルを使用する場合は、本製品の性能を最大限発揮させるため、エンハンスカテゴリ 5(CAT5e)以上の LAN ケーブルを使用してください。CAT5 以下の LAN ケーブルを使用すると、通信速度が遅くなる場合があります。

## ■ 対応する Web ブラウザ

対応している Web ブラウザ、およびバージョンは以下のとおりです。

OS	Web ブラウザ	バージョン
Windows OS	Google Chrome	109 以上
	Microsoft Edge	109 以上
	Mozilla Firefox	109 以上
macOS	Safari	16.2 以上
	Google Chrome	109 以上
	Mozilla Firefox	109 以上
Chrome OS	Google Chrome	109 以上
	Mozilla Firefox	109 以上

# 2

## 各種機能を設定する (Web ブラウザ)

設定ツールについて .....	36
設定ツールの起動とログイン .....	36
設定ツールの画面 .....	38
WAN 設定 .....	41
ネットワーク設定 .....	41
プロファイル管理 .....	44
SIM 管理 .....	45
PIN コード管理 .....	47
LAN 設定 .....	51
DHCP .....	51
スタティック DHCP .....	53
NAT .....	54
セキュリティ .....	55
セキュリティ .....	61
ユーザー管理 .....	61
ME-PIN .....	62
プライバシーセパレータ .....	63
システム .....	64
デバイス情報 .....	64
動作モード .....	64
インタフェース設定 .....	65
SNTP .....	66
ソフトウェアとリセット .....	67
システムログ .....	71

## 設定ツールについて

本製品と接続したパソコンから、Web ブラウザを利用して本製品の各種機能を設定することができます。以下の手順は本製品とパソコンを接続した場合を例にしています。

## 設定ツールの起動とログイン

### 1 Web ブラウザを起動する

### 2 URL を入力する

URL の入力欄に[<http://192.168.1.1/>]と入力し、[Enter]を押します。

### 3 初期設定ウィザード画面でパスワードを設定する

設定ツールの初回起動時には、ログインパスワードを設定する必要があります。

2 回目以降のログイン時は手順 5 に進みます。

パスワードには 8 から 32 文字以内で、英大文字、英小文字、数字を必ず 1 文字以上使用する必要があります。

また(, " : ; ¥ & % + ' < > ?)を除く記号も使用できます。

### 4 完了をクリックする

初期設定ウィザード

WebUIログインパスワードを設定

新しいパスワード:

パスワード確認:

弱 中 強

半角英数字（大文字・小文字・数字をそれぞれ1文字以上を含む）を使用したパスワードを8-32文字で設定してください。

完了



#### お願い

- 初回起動時に設定したパスワードの情報は、忘れないように管理してください。

## 5 ログイン画面に手順 3 で設定した「パスワード」を入力して「ログイン」をクリックする

ログインに成功すると  
設定ツール画面が表示されます。

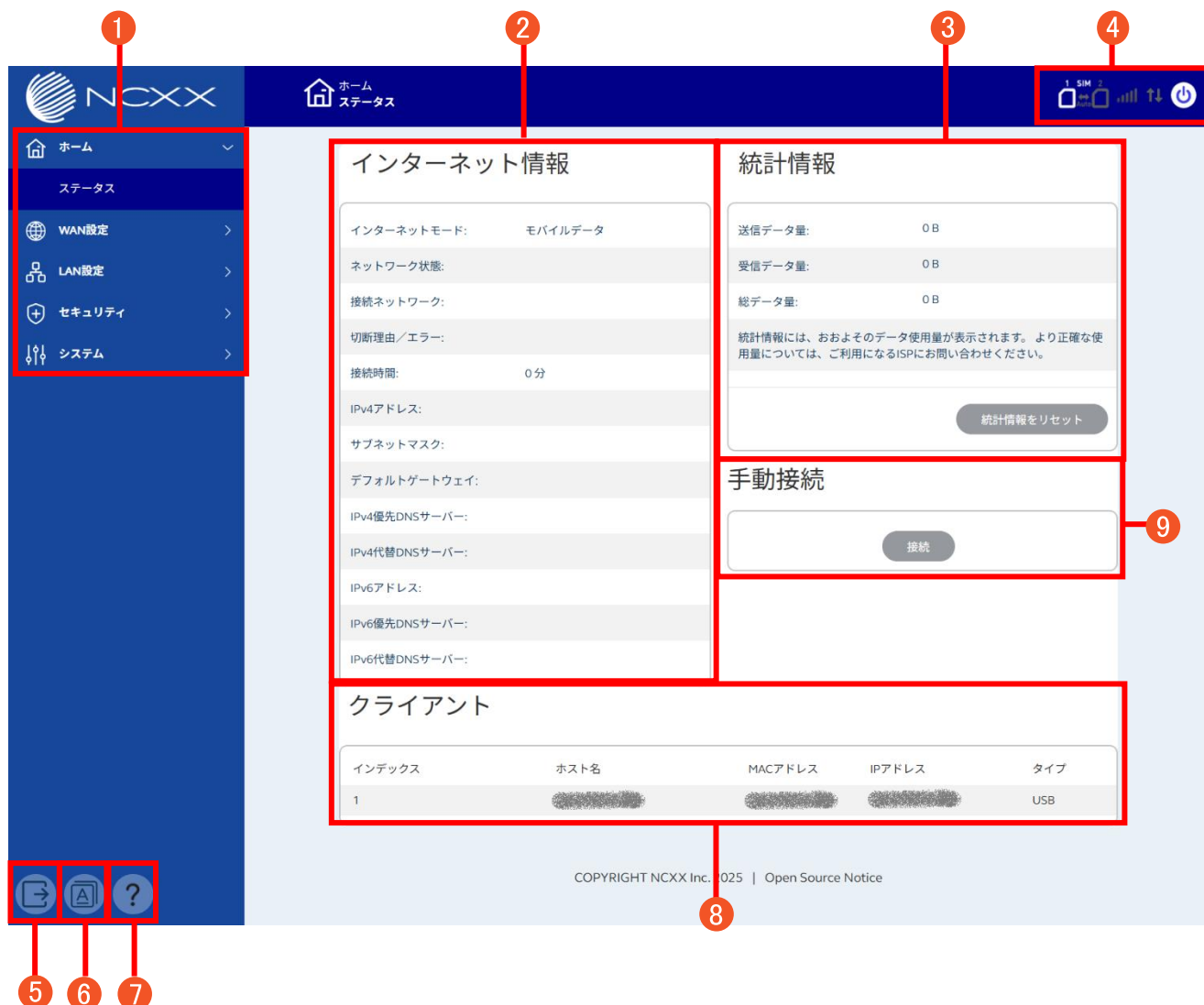
A screenshot of a login screen with a dark blue background. At the top, it says 'ログインしてください。' (Please log in). Below that are language options 'English' and '日本語' (Japanese). The 'パスワード' (Password) label is above a white input field containing seven dots. A red rectangle highlights the input field and the 'ログイン' (Login) button below it. At the bottom, there is a link that says 'パスワードを忘れた場合はこちら' (Click here if you forgot your password).

### お知らせ

- パスワードを万が一お忘れになられた場合は、リセットボタンを 5 秒以上押し続けて、お買い上げ時の出荷時設定の状態に戻してください。→「リセットボタン」(P.23)
- ログインパスワードの変更については、→「ユーザー管理」(P.61)をご覧ください。

## 設定ツールの画面

設定ツールの画面について、ステータス画面（[ホーム]→[ステータス]）を順にクリック）を例に説明します。



### ① 設定メニュー

### ② インターネット情報

接続ネットワークや接続時間、各種アドレスなどを表示します。

### ③ 統計情報

利用したデータ通信量が表示されます。

[統計情報をリセット]をクリックするとデータ通信量がリセットされます。









### 注意



- 表示される送信データ量/受信データ量/総データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なる場合があります。
- 5G/LTE 回線以外の送信データ量/受信データ量/総データ量はカウントされません。

#### ④ 状態表示

##### 5G／4G 電波状態

表示						
状態	圏外	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5




##### モバイル通信状態

表示		
状態	モバイル通信 切断	モバイル通信中

##### 通信方式

表示		
状態	5G 通信	4G 通信

##### 電源状態




表示			
状態	DC IN 5V 給電時	7.5W モード状態	4.5W モード状態

##### 温度上昇警告

表示		
状態	高温による 通信制限中	高温による 通信停止中



## SIM カード

表示			
状態	SIM カード未挿入/ PIN コード、PIN ロックコー ド入力による解除待ち	SIM1 を使用中/ SIM2 は未挿入検出状態	SIM2 を使用中/ SIM1 は未挿入検出状態

表示				
状態	SIM1 を使用中/ SIM2 挿入状態	SIM2 を使用中/ SIM1 挿入状態	SIM1 を使用中/ SIM2 挿入状態/ 自動切換え設定中	SIM2 を使用中/ SIM1 挿入状態/ 自動切換え設定中

## 国際ローミング

表示		
状態	SIM1 国際ローミング時	SIM2 国際ローミング時

## FW アップデート情報

表示	
状態	FW アップデート 情報あり

### 5 ログアウト

設定ツールからログアウトします。

### 6 言語設定

設定ツールの言語を設定します。

### 7 ヘルプ

取扱説明書(本書)を PDF ファイルで表示します。

### 8 クライアント

USB、有線 LAN に接続している機器の台数などを表示します。

### 9 手動接続

手動接続状態を表示します。

自動接続設定を手動に設定したときのみ表示されます。 →「自動接続」(P.42)

## WAN 設定

ネットワークに接続するための設定を行います。

## ネットワーク設定

### ネットワーク設定

使用するネットワークモードや通信事業者を設定します。

#### ■ ネットワークモードを設定する

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[ネットワーク設定]→[ネットワーク設定]を順にクリックする
- 2 [ネットワークモード]にて、以下の項目を設定する

ネットワークモード	<p>使用するネットワークモードを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 自動（初期値） 5G / 4G の通信方式が利用できます。</li><li>● 5G Only 5G SA の通信方式が利用できます。</li><li>● 4G Only 4G の通信方式が利用できます。</li></ul>
-----------	--

- 3 [適用]をクリックする

## ■ ネットワーク検索を設定する

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[ネットワーク設定]→[ネットワーク設定]→を順にクリックする
- 2 [ネットワーク検索]にて、以下の項目を設定する

ネットワーク検索	使用するネットワークの検索の自動/手動を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 自動（初期値）</li><li>● 手動</li></ul>
----------	---

- 3 [適用]をクリックする
- 4 [手動]を選択した場合は[OK]をクリックする  
ネットワークを検索し、ネットワーク一覧を表示します。



### お知らせ

- ネットワーク検索には時間がかかる場合があります。

- 5 利用するネットワークを選択して[位置登録]をクリックする

## 自動接続

ローミングや接続の自動/手動を設定します。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[ネットワーク設定]→[自動接続]を順にクリックする
- 2 [自動接続]にて、以下の項目を設定する

自動接続	自動接続を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 自動接続(ローミング除く)(初期値)</li><li>● 手動</li><li>● 自動接続</li></ul>
------	--



### お知らせ

- ローミングを行う場合には、[手動]または[自動接続]を選択してください。
- [手動]を選択した場合にはステータス画面に手動で接続、切断を操作する画面が追加されます。→「設定ツールの画面」(P.38)

## サブネットマスク

WAN 側のサブネットマスクを指定します。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[ネットワーク設定]→[サブネットマスク]を順にクリックする
- 2 [サブネットマスク]にて、以下の項目を設定する

サブネットマスク	<p>自動接続を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Dynamic(初期値) 自動で設定されます。 WAN 側のネットワーク規模が不明な場合に選択します。</li><li>● Dynamic with ABC WAN 側の IP のクラスフルアドレッシング(クラス A,B,C)により自動で設定されます。</li><li>● Static サブネットマスクを手動で設定します。 「Static」選択後、サブネットマスク IP へ 0.0.0.0～255.255.255.255 を入力する</li></ul>
----------	---



### お知らせ

- WAN 側のネットワーク構成を変更したい場合に設定します。

- 3 [適用]をクリックする
- 4 [OK]をクリックする  
本製品が再起動します。

## プロフィール管理

APN(アクセスポイント名)プロフィールを設定します。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[プロフィール管理]を順にクリックする
- 2 [追加]をクリックする
- 3 プロフィールを設定する  
[プロフィール名]、[認証方式]、[APN]、[ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[IP タイプ]、[SIM 選択]を選択します。

プロフィール名	任意のプロフィール名を入力します。 半角英数および記号( , " ; \ & % + ' < > ? を除く)最大 32 文字が使用可能です。
認証方式	事業者より指定される認証方式を選択します。 ●None (初期値)      ●PAP      ●CHAP
APN	事業者より提供されている APN を入力します。 半角英数最大 62 文字、.(ドット)、-(ハイフン)が使用可能です。
ユーザー名	事業者より提供されているユーザー名を入力します。 半角英数および記号( , " ; \ & % + ' < > ? を除く)最大 64 文字が使用可能です。
パスワード	事業者より提供されているパスワードを入力します。 半角英数および記号( , " ; \ & % + ' < > ? を除く)最大 32 文字が使用可能です。 <input type="checkbox"/> をクリックすると入力しているパスワードを表示させることができます。
IP タイプ	接続方式を選択します。 ●IPv4      ●IPv6      ●IPv4/v6 (初期値)
SIM 選択	使用する SIM を選択します。 ● SIM1 (初期値) ● SIM2

- 4 入力内容を確認して、[保存]をクリックする



### お知らせ

- プロファイルを複数登録した場合、プロフィールを指定する際は、[プロフィール名]から使用するプロフィールを選択し[適用]をクリックしてください。
- プロファイルは最大 16 個の作成が可能です。

## SIM 管理

本製品には、2つの SIM を入れられますが、DSSS「Dual SIM Single Standby(デュアル SIM シングルスタンバイ)」方式となり、どちらか片方のみが有効になります。

2つの SIM を入れた場合は、優先させる SIM を選択し、自動切替えの有効／無効の設定を行うことができます。



### 注意

- 優先 SIM 設定の初期値は SIM1 となっております。SIM を 1 枚で使用する場合は、SIM1 スロットへ挿入してください。
- SIM 自動切替え機能で、PIN ロック機能を使用する場合は、事前に SIM1、SIM2 の PIN コード設定を行い、PIN 自動入力を有効にしてください。

## ■ 優先 SIM を設定する

通常使用する SIM を設定します。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[SIM 管理]を順にクリックする
- 2 [優先 SIM]にて、以下を選択する

優先 SIM	優先する SIM を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● SIM1 (初期値)</li><li>● SIM2</li></ul>
--------	--

## ■ 自動切替えを設定する

自動切替え機能は、通信状態を監視して、通信障害発生時にもう一方の SIM へ切替えて通信を行う機能です。「SIM1」「SIM2」に両方挿入された場合に有効となる機能です。

- 1 [自動切替え]にて、以下を選択する

自動切替え	自動切替え機能の有効／無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効 (初期値)</li></ul>
-------	--

- 2 [自動切替え]にて、[有効]にした場合、各種切替条件を設定する

接続時の判定条件を設定します。

監視時間 (分)	ネットワークへ接続するまでの時間を監視します。 3 分 (初期値) 3 ~ 10 分が使用可能です。
----------	--

通信中の判定条件を設定します。

電界強度判定	通信中の疎通確認時に電界強度チェックを行うかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効（初期値）</li></ul>
電界強度閾値（dBm）	本設定値以下（受信レベルが低い）の場合は疎通確認を行いません。 -100dB（初期値） -70 ～ -130dB が選択可能です。
通信断確認 IP アドレス	通信中の疎通確認のための ping の送信先 IP アドレスを設定します。 8.8.8.8（初期値） 0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 の半角数字が使用可能です。 ping 応答が可能な IP アドレスを指定してください。
PING 送信回数（回）	切替えを行うための判定回数を指定します。 監視周期毎に ping 送信を行い、本設定回数、連続で失敗した場合に SIM 切替え動作を実施します。 3 回（初期値） 1 ～ 20 回が選択可能です。
監視周期（分）	通信中の疎通確認のための ping の送信の周期を設定します。 1 分（初期値） 1 ～ 5 分が選択可能です。

### 3 非優先 SIM の動作条件を設定する

非優先 SIM 側に切り替わった後の動作条件を設定します。

接続時間監視	非優先側の接続時間監視の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効（初期値）</li></ul>
接続時間（時間）	非優先 SIM 側に切り替わった後の通信時間を設定します。 本設定時間を超えた場合、優先 SIM 側に切り替わります。 1 時間（初期値） 1 ～ 120 時間が選択可能です。

### 4 入力内容を確認して、[適用]をクリックする



#### お知らせ

- 非優先 SIM で接続中に「優先 SIM へ戻す」ボタンをクリックすることで優先 SIM へ切替えることができます。
- 接続時間監視を無効にした場合は、切替え条件で切り替わります。

## PIN コード管理

SIM カードには、「PIN コード」という暗証番号があります。この暗証番号により、ユーザー固有データと第 3 者不正使用に対する強力なセキュリティ機能を実現しています。

お買い上げ時、PIN コードは無効になっています。有効にすることで、紛失、または盗難にあった際、不正に使用されることがありません。

本設定を行うには、事前にプロファイル設定を行ってください。

また、設定は優先 SIM に対して行えます。非優先 SIM 側の設定を行う場合は、優先 SIM 設定で切替えてから行ってください。→「優先 SIM」(P.45)



### 注意

- PIN コードの初期値は通信事業者により異なります。
- PIN コードには「生年月日」、「電話番号の一部」など他人にわかりやすい番号は避けてください。また、設定した PIN コードは、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。
- PIN コードや PIN ロック解除コード(PUK)は、他人に知られないように十分に注意してください。
- PIN コードの入力を 3 回連続で間違えた場合、PIN ロック解除コードが必要になります。ご契約の通信事業者にご確認ください。
- PIN ロック解除コードの入力を 10 回連続で間違えると、PUK ロック状態となります。
- その場合は、ご契約の通信事業者の窓口へお問い合わせ下さい。
- SIM 自動切替え機能で、PIN ロック機能を使用する場合は、事前に SIM1、SIM2 の PIN コード設定を行い、PIN 自動入力を有効にしてください。

## ■ SIM(1 または 2) - PIN 設定を有効にする

SIM(1 または 2)-[PIN コード要求]が[無効]の場合、PIN コードを有効にします。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[PIN コード管理]を順にクリックする
- 2 SIM(1 または 2)-[PIN コード要求]にて、[有効]を選択し、[PIN コード]に PIN コードを入力する

PIN コード要求	PIN コード要求の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効（初期値）</li></ul>
PIN コード	現在設定されている PIN コードを入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。 お買い上げ時の初期値はご契約の通信事業者によって異なります。 <input type="text"/> をクリックすると入力している PIN コードを表示させることができます。

- 3 [適用]をクリックする



## ■ SIM(1 または 2) – PIN 設定を無効にする

SIM(1 または 2)–[PIN コード要求]が[有効]の場合、PIN コードを無効にします。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[PIN コード管理]を順にクリックする
- 2 SIM(1 または 2)–[PIN コード要求]にて、[無効]を選択し、[PIN コード]に PIN コードを入力する
- 3 [適用]をクリックする

## ■ SIM(1 または 2) – PIN コードを変更する


SIM(1 または 2)–[PIN コード要求]が[有効]の場合、PIN コードを変更することができます。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[PIN コード管理]を順にクリックする
- 2 SIM(1 または 2)–[PIN コード要求]で[変更]を選択する

PIN コード要求	PIN コード要求を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効（初期値）</li><li>● 変更</li></ul>
-----------	--

- 3 以下の項目を設定する

PIN コード	現在設定されている PIN コードを入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。
新しい PIN コード	新しく設定する SIM カードの PIN コードを入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。
PIN コードの確認	新しく設定する SIM カードの PIN コードを再度入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。

※PIN コード入力欄の  をクリックすると入力しているパスワードを表示させることができます。

- 4 [適用]をクリックする

## ■ SIM(1 または 2) – PIN 自動入力を設定する

SIM(1 または 2)–[PIN コード要求]が[有効]の場合、PIN 自動入力を設定することができます。  
[PIN 自動入力]が[有効]に設定している場合、本製品の起動時に PIN コードが自動で入力され、  
ロックが解除されます。

1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[PIN コード管理]を順にクリックする

2 SIM(1 または 2)–[PIN 自動入力]で[有効]または[無効]を選択します。


PIN 自動入力	PIN 自動入力の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効（初期値）</li></ul>
----------	--

## ■ SIM(1 または 2) – PIN コードを解除する

SIM(1 または 2)–[PIN コード要求]を[有効]に設定した場合、本製品の起動時に PIN コードを  
入力します。[PIN 自動入力]が[有効]の場合は PIN コードの入力は不要です。  
PIN コードを解除するまでインターネットに接続できません。

1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[ネットワーク設定]/[プロファイル管理]/[PIN コード管理]の  
いずれかをクリックすると、PIN コード入力要求画面が表示されます。

2 SIM(1 または 2)–[PIN コード]に PIN コードを入力する

PIN コード	現在設定されている PIN コードを入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。  をクリックすると入力している PIN コードを表示させること ができます。
---------	--

3 [適用]をクリックする



### お知らせ

- [ホーム画面へ]をクリックした場合は、[WAN 設定]→[PIN コード管理]をクリックすると  
PIN コード入力要求画面が再度表示されます。


## ■ SIM(1 または 2) – PIN ロックを解除する

PIN コードの入力を 3 回連続で間違えると、設定した PIN コードが無効になり、PIN ロック状態となります。その場合、PIN ロックの解除コード(PUK)の入力により、PIN コードを再発行する事ができます。

PIN ロックの解除コード(PUK)については、ご契約の通信事業者にご確認ください。

### 1 以下の項目を設定する

PUK コード	ご利用中の SIM カードの PIN ロックの解除コード(PUK)を入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。
新しい PIN コード	新しく設定する SIM カードの PIN コードを入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。
PIN コードの確認	新しく設定する SIM カードの PIN コードを再度入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。

※PIN コード入力欄の  をクリックすると入力しているパスワードを表示させることができます。

### 2 [適用]をクリックする

# LAN 設定

## DHCP

DHCP サーバー(LAN 内の端末に IP アドレスを割り当てる)機能やファイアウォール(インターネットからの不正な侵入を防ぐ機能)などを設定します。

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[DHCP]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

DHCP サーバー	DHCP サーバーの有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効 (初期値)</li><li>● 無効</li></ul>
IP アドレス	本製品のプライベート IP アドレスを設定します。 192.168.1.1 (初期値) 192.168.0.1 ~ 192.168.255.254 の半角数字が使用可能です。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。 255.255.255.0 (初期値) 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。
DHCP IP アドレス範囲	本製品に接続された機器に割り当てる IP アドレスの開始と終了を設定します。 192.168.1.2 ~ 192.168.1.254 (初期値) 192.168.1.1 ~ 192.168.1.254 の半角数字が使用可能です。 ※本機のネットワークアドレスと同じである必要があります。
DHCP リース期間	本製品に接続された機器に割り当てた IP アドレスのリース期間を設定します。 720 分 (初期値) 2 ~ 43200 の半角数字が使用可能です。
DNS モード	DNS サーバーのアドレスの自動/手動を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 手動</li><li>● 自動 (初期値)</li></ul>
優先 DNS サーバー	本製品の優先 DNS サーバーを入力します。 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。
代替 DNS サーバー	本製品の代替 DNS サーバーを入力します。 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。



#### 注意

- DHCP サーバーを無効に設定すると、Web ブラウザからアクセスができなくなります。再度アクセスする場合、PC から手動で IP アドレスを設定すれば、Web ブラウザからアクセスできます。
- 設定を変更すると再起動しますが、IP アドレスを変更した場合には再起動後に自動的に画面が「再起動中です。」から切り替わらない場合があります。変更した IP アドレスで再度ログインしてください。

### 3 [適用]をクリックする

## スタティック DHCP

DHCP サーバーから割り当てる IP アドレスの内、任意の MAC アドレスに固定 IP を割り当てる機能です。

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[スタティック DHCP]を順にクリックする

2 [追加]をクリックする

64 個まで登録することができます。

3 以下の項目を設定する

ホスト名	任意のホスト名を入力します。 半角英数最大 32 文字が使用可能です。
LAN IP アドレス	固定 IP を割り当てさせる端末側の IP アドレスを入力します。 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。 ※本機のネットワークアドレスと同じである必要があります。
MAC アドレス	固定 IP を割り当てさせる端末側の MAC アドレスを入力します。 6 組の 16 進数 2 桁が使用可能です。
ステータス	登録したスタティック DHCP の ON/OFF を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ON(初期値)</li><li>● OFF</li></ul>

4 [保存]をクリックする



### お知らせ

- 登録したリストの内容の変更、削除は[オプション]の[編集]、[削除]で行うことができます。

## NAT

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[NAT]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

TCP NAT タイマー (秒)	TCP セッション確立後、通信をしていない状態でセッションを保持できる時間を設定します。 300 (初期値) 30 ~ 86400 の半角数字が使用可能です。
UDP NAT タイマー (秒)	通信をしていない状態で UDP ステート管理を保持できる時間を設定します。 300 (初期値) 30 ~ 86400 の半角数字が使用可能です。

3 [適用]をクリックする

### DMZ 設定

LAN 内にある特定の端末を、他の端末から隔離された DMZ ホストとして設定できます。ポート番号の設定をしなくても、Web サーバーを公開したり、オンラインゲームなどを利用したりできるようになります。

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[DMZ 設定]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

DMZ 設定	DMZ 機能の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効(初期値)</li></ul>
DMZ IP アドレス	DMZ ホストの IP アドレスを設定します。 [DMZ 設定]を[有効]にしているときに設定できます。 192.168.1.2 (初期値) 192.168.0.2 ~ 192.168.255.254 の半角数字が使用可能です。 ※本機のネットワークアドレスと同じである必要があります。

3 [適用]をクリックする



## ポートフォワーディング

WAN 側から LAN 内の特定の LAN 端末にアクセスできるように設定できる機能です。サーバーや FTP を公開する場合、一部のオンラインゲームやメッセージソフトなどを利用する場合に設定します。

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[ポートフォワーディング]を順にクリックする

2 [追加]をクリックする

64 個まで登録することができます。

3 以下の項目を設定する

名前	任意の名前を入力します。 半角英数および記号( , " ; \ & % + ' < > ? を除く)最大 31 文字が使用可能です。
WAN ポート番号	ポートフォワーディングの対象とする WAN 側のポート番号を入力します。 1 ~ 65535 の半角数字が使用可能です。
LAN IP アドレス	ポートフォワーディングの対象とする LAN 側の IP アドレスを入力します。 192.168.0.1 ~ 192.168.255.254 の半角数字が使用可能です。 ※本機のネットワークアドレスと同じである必要があります。
LAN ポート番号	ポートフォワーディングの対象とする LAN 側のポート番号を入力します。 1 ~ 65535 の半角数字が使用可能です。
プロトコル	ポートフォワーディングの対象とするプロトコルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● TCP/UDP (初期値)</li><li>● TCP</li><li>● UDP</li></ul>
ステータス	ポートフォワーディング機能の ON/OFF を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ON (初期値)</li><li>● OFF</li></ul>

4 [保存]をクリックする



### お知らせ

- 登録したリストの内容の変更、削除は[オプション]の[編集]、[削除]で行うことができます。

## IP／ポートフィルタ

登録した IP アドレスのみアクセスを許可する、または登録した IP アドレスのアクセスを禁止する設定ができます。

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[IP/ポートフィルタリング]を順にクリックする

2 ステータスを選択する

ステータス	IP フィルタリングのステータスを選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 無効（初期値）</li><li>● ブラックリスト 64 個まで登録することができます。</li><li>● ホワイトリスト 64 個まで登録することができます。</li></ul>
-------	---

3 [追加]をクリックする

4 以下の項目を設定する

LAN IP アドレス	IP フィルタリングの対象とする LAN 側の IP アドレスを入力します。 IPv4: 0 ～ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。 IPv6: 8 組の 16 進数 4 桁が使用可能です。 ※8 組の番号間は「:」で区切る必要があります。 ※本機のネットワークアドレスと同じである必要があります。
LAN ポート番号	IP フィルタリングの対象とする LAN 側のポート番号を入力します。 1 ～ 65535 の半角数字が使用可能です。
WAN IP アドレス	IP フィルタリングの対象とする WAN 側の IP アドレスを入力します。 IPv4: 0 ～ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。 IPv6: 8 組の 16 進数 4 桁が使用可能です。 ※8 組の番号間は「:」で区切る必要があります。
WAN ポート番号	IP フィルタリングの対象とする WAN 側のポート番号を入力します。 1 ～ 65535 の半角数字が使用可能です。

プロトコル	IP フィルタリングの対象とするプロトコルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● TCP/UDP (初期値)</li> <li>● TCP</li> <li>● UDP</li> <li>● ICMP</li> </ul>
ステータス	ポートフォワーディング機能の ON/OFF を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ON (初期値)</li> <li>● OFF</li> </ul>

## 5 [保存]をクリックする



### お知らせ

- 登録したリストの内容の変更、削除は[オプション]の[編集]、[削除]で行うことができます。

## イーサネット MAC フィルタリング

登録した MAC アドレスのみアクセスを許可する、または登録した MAC アドレスのアクセスを禁止する設定ができます。

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[イーサネット MAC フィルタリング]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

ステータス	イーサネット MAC フィルタリングのステータスを選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 無効（初期値）</li><li>● ブラックリスト 64 個まで登録することができます。</li><li>● ホワイトリスト 64 個まで登録することができます。</li></ul>
-------	---

3 [追加]をクリックする

4 以下の項目を設定する

ホスト名	任意のホスト名を入力します。 半角英数 最大 32 文字が使用可能です。
MAC アドレス	MAC アドレスを入力します。 6 組の 16 進数 2 桁が使用可能です。
ステータス	MAC アドレスを設定したら[ON]または[OFF]をクリックします。

5 [保存]をクリックする



### お知らせ

- 登録したリストの内容の変更、削除は[オプション]の[編集]、[削除]で行うことができます。

## WAN Ping ブロック

WAN 側から本製品に Ping を送信された場合、Ping の応答を返すように設定することができます。

- 1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[WAN Ping ブロック]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

WAN Ping ブロック設定	WAN Ping ブロック機能の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● Ping 応答なし(初期値)</li><li>● Ping 応答あり</li></ul>
WAN IP アドレス範囲	有効に設定した場合に Ping 応答を返す WAN IP アドレスの範囲を入力します。 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。 (入力例: X.X.X.X-X.X.X.X または X.X.X.X) WAN IP アドレス範囲が空の場合、すべての WAN IP アドレスからの Ping に応答します。

- 3 [適用]をクリックする

## UPnP

UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ)は、周辺機器、情報家電など UPnP 対応デバイスを接続できる機能です。

- 1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[UPnP]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

ステータス	UPnP 機能の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効(初期値)</li><li>● 無効</li></ul>
-------	---

## セキュリティ



### お知らせ


- ログインしたときに[セキュリティ]の設定をすることができます。

## ユーザー管理

ログインパスワードを変更することができます。

- 1 設定ツール画面で[セキュリティ]→[ユーザー管理]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。 空白（初期値） 大文字、小文字、数字をそれぞれ 1 文字以上を含む 8～32 文字の半角英数字および記号( , " ; \ & % + ' < > ? を除く)が使用可能です。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。 大文字、小文字、数字をそれぞれ 1 文字以上を含む 8～32 文字の半角英数字および記号( , " ; \ & % + ' < > ? を除く)が使用可能です。
パスワード確認	新しいパスワードを入力します。(再入力) 大文字、小文字、数字をそれぞれ 1 文字以上を含む 8～32 文字の半角英数字および記号( , " ; \ & % + ' < > ? を除く)が使用可能です。

※パスワード入力欄の  をクリックすると入力しているパスワードを表示させることができます。



### お知らせ

- パスワードを万が一お忘れになられた場合は、リセットボタンを 5 秒以上押し続けて、お買い上げ時の出荷時設定の状態に戻してください。

- 3 [適用]をクリックする

## ME-PIN

ME-PIN とはセキュリティを向上させるため、本製品の起動時に 5G/4G の通信を停止（ロック）することができる機能です。



### 注意

- 設定した ME-PIN は、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。

## ■ ME-PIN の設定を有効にする

- 1 設定ツール画面で[セキュリティ]→[ME-PIN]を順にクリックする
- 2 [ME-PIN 設定]にて、[有効]を選択し、[ME-PIN コード]に ME-PIN コードを入力する

ME-PIN 設定	ME-PIN の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効（初期値）</li></ul>
ME-PIN コード	ME-PIN コードを入力します。 6 文字の半角数字が使用可能です。

- 3 [適用]をクリックする

## ■ ME-PIN の設定を無効にする

[ME-PIN 設定]が[有効]の場合、ME-PIN コードを無効にします。

- 1 設定ツール画面で[セキュリティ]→[ME-PIN]を順にクリックする
- 2 [ME-PIN 設定]で[無効]を選択し、[ME-PIN コード]に ME-PIN コードを入力する

ME-PIN 設定	ME-PIN の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効</li></ul>
ME-PIN コード	ME-PIN コードを入力します。 6 文字の半角数字が使用可能です。

- 3 [適用]をクリックする

## ■ ME-PIN を解除する

[ME-PIN 設定]を[有効]に設定した場合、本製品の起動時に ME-PIN コードを入力します。  
ME-PIN を解除するまでインターネットに接続できません。

### 1 Web ブラウザを起動し、URL を入力する

URL の入力欄に[<http://192.168.1.1/>]と入力し、[Enter]を押します。

### 2 ME-PIN 入力画面が表示されるので、設定した ME-PIN コードを入力する

ME-PIN コード	ME-PIN コードを入力します。 6 文字の半角数字が使用可能です。
------------	--

### 3 [アンロック]をクリックする

ME-PIN が解除されるとログイン画面が表示されます。



#### お知らせ

- ME-PIN コードを万が一お忘れになられた場合は、リセットボタンを 5 秒以上押し続けて、お買い上げ時の出荷時設定の状態に戻してください。

## プライバシーセパレータ

USB インタフェースとイーサネットインタフェース間の相互通信をするか選択します。

### 1 設定ツール画面で[セキュリティ]→[プライバシーセパレータ]を順にクリックする

### 2 以下の項目を設定する

プライバシー セパレータ	USB インタフェースとイーサネットインタフェース間の相互通信をするか選択します。 ●有効（初期値） ●無効
-----------------	--



## システム

### デバイス情報

本製品の情報や状態を確認できます。

- 1 設定ツール画面で[システム]→[デバイス情報]を順にクリックする

### 動作モード

本製品の動作モードを設定します。

- 1 設定ツール画面で[システム]→[動作モード]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

動作モード	動作モードを選択します。 ルーターモードと USB モデムモードを切替えます。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ルーター（初期値）</li><li>● USB モデム</li></ul>
動作温度閾値	動作温度閾値を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● Class A(75℃)（初期値） ケースの表面温度が約 75℃に達したときに通信を停止します。</li><li>● Class B(60℃) ケースの表面温度が約 60℃に達したときに通信を停止します。</li></ul>

※通信停止中は温度上昇警告ランプが赤色に点灯します。

通信停止後、温度が下がり温度上昇警告ランプが消灯したら使用を再開できます。

- 3 変更した場合は[適用]をクリックする  
本製品は再起動します。

## インタフェース設定

本製品のインタフェースを設定します。

1 設定ツール画面で[システム]→「インタフェース設定」を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

USB インタフェース	USB インタフェースを選択します。 ●自動（初期値） ●RNDIS USB で接続する機器が Windows で使用できます。 ●ECM USB で接続する機器が Mac で使用できます。
イーサネットインタフェース	イーサネットインタフェースの有効/無効を選択します。 ●有効 ●無効（初期値）

3 変更した場合は[適用]をクリックする



### 注意

- 電源ランプが橙点灯(4.5W)で認識されている場合は、電力不足による不安定動作となることがあります。  
【対策】DC IN 5V ポートに AC アダプタを接続してご使用ください。
- USB インタフェース設定では、OS により使用できる通信方式が異なります。  
→「対応機器について」(P.33)をご参照になり正しい通信方式を選択してください。  
誤った設定をすると、接続できなくなります。  
接続できなくなった場合は、リセットボタンを 5 秒以上押し続けて、お買い上げ時の出荷時設定の状態に戻してください。

## SNTP

### 1 設定ツール画面で[システム]→[SNTP]を順にクリックする

### 2 以下の項目を設定する

現在時刻	現在の時刻を表示します。 画面右の[時刻変更]から手動で時刻を変更できます。
ステータス	同期の状態が表示されます。
最終同期	最終同期時刻が表示されます。
タイムゾーン	現在設定されているタイムゾーンが表示されます。 画面右の[タイムゾーン変更]から世界のタイムゾーンを選択することができます。 Asia/Tokyo（初期値）
時刻フォーマット	時刻のフォーマットを選択できます。 ●12 時間表記 ●24 時間表記（初期値）

### 3 以下の項目を設定する

ネットワーク時刻との自動同期を有効にする	時刻同期(SNTP)サーバーを設定します。 SNTP サーバーと自動で同期させることができます。 5 箇所まで選択可能です。 チェックマークあり（初期値）
時刻同期サーバー1	ntp.nict.jp（初期値）
時刻同期サーバー2	0.jp.pool.ntp.org（初期値）
時刻同期サーバー3	1.jp.pool.ntp.org（初期値）
時刻同期サーバー4	2.jp.pool.ntp.org（初期値）
時刻同期サーバー5	3.jp.pool.ntp.org（初期値）
夏時間を有効にする	夏時間を設定することができます。 チェックマークなし（初期値） チェックマークを付けると夏時間開始時刻、夏時間終了時刻、夏時間調整オフセットが設定できます。



#### お知らせ

- サマータイムの実施期間は、国や地域によって異なります。
- サマータイム制度は、国や地域の事情により変更される場合があります。

### 4 [適用]をクリックする

## ソフトウェアとリセット

### 自動再起動

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[自動再起動]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

自動再起動	自動再起動の有効/無効を選択します。 ●有効 ●無効（初期値）
再起動時刻	再起動の時刻を設定します。 ※動作状況により時刻どおりに再起動しない場合があります。 自動再起動の設定が[有効]のときに設定できます。 00:00 ～ 23:00 が選択できます。 （分単位の設定はできません。）
モード	再起動周期の期間を設定します。 自動再起動の設定が[有効]のときに設定できます。 ●日 毎日の設定です。 ●週（初期値） 月火水木金土日 にチェックマークを付けます。

- 3 [適用]をクリックする

### バックアップ／リストア

本製品に設定した内容をパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込んだりできます。

#### ■ バックアップする

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[バックアップ／リストア]を順にクリックする
- 2 [バックアップ]をクリックする
- 3 パソコンのわかりやすい場所へ保存する  
※ブラウザの設定により動作が異なる場合があります。

## ■ リストア(復元)する

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[バックアップ／リストア]を順にクリックする
- 2 [ファイル]をクリックする→以前にバックアップした設定内容のファイルを選択する
- 3 [リストア]をクリックする  
設定内容が読み込まれ、本製品は自動的に再起動します。

## FW アップデート

FW(ファームウェア)は本製品を動作させるソフトウェアのことです。FW を更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。  
FW は最新のバージョンで使用してください。

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[FW アップデート]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

FW 自動アップデート	FW 自動アップデートの有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>●有効 定期的にアップデート情報を確認して、新しい FW が見つかりると自動で FW をオンラインでアップデートします。 約 5～15 分程度でアップデートは終了します。 ※ネットワーク回線の通信状況により時間が長くなる場合があります。</li><li>●無効 (初期値)</li></ul>
アップデート方式	[FW 自動アップデート]を[無効]に設定している場合のアップデート方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>●オンラインアップデート</li><li>●手動アップデート (初期値)</li></ul>
現在のソフトウェアバージョン	現在のファームウェアのバージョンを表示します。
ファイル名	ファームウェアのファイルを選択します。 アップデート方式で[手動アップデート]を選択した場合に表示されます。

## ■ オンラインでアップデートする

[FW 自動アップデート]を[無効]に設定している場合、必要なときにアップデート情報を確認して、新しいFWが見つければオンラインでアップデートできます。

- 1 アップデート方式を[オンラインアップデート]に設定する
- 2 [アップデートを確認する]をクリックする  
新しいFWが見つかったら[新しいソフトウェアバージョン]に新しいFWのバージョンが表示されます。
- 3 [アップデート]をクリックします。
- 4 [OK]をクリックします。  
約5～15分程度でアップデートは終了します。  
※ネットワーク回線の通信状況により時間が長くなる場合があります。

## ■ 手動でアップデートする

[FW 自動アップデート]を[無効]に設定している場合、製造元のホームページからダウンロードしたFWを手動でアップデートすることができます。

- 1 アップデート方式を[手動アップデート]に設定する
- 2 製造元のホームページから最新のFWをダウンロードする
- 3 [ファイル]をクリックし、ダウンロードした最新のFWを選択する
- 4 [アップデート]をクリックする  
約5～15分程度でアップデートは終了します。  
※ネットワーク回線の通信状況により時間が長くなる場合があります。



### 注意

- FW アップデート中は電源を切らないでください。
- FW アップデートは電波状態の良いところで行ってください。電波状態が悪い場合にはアップデートを中断することがあります。
- FW アップデート後は、再ログイン前にご使用になる Web ブラウザのキャッシュをクリアしてください。キャッシュをクリアしないと設定ツールが正しく表示されない場合があります。

## 再起動／リセット

### ■ 再起動する

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[再起動／リセット]を順にクリックする
- 2 [再起動]をクリックする
- 3 [OK]をクリックする  
本製品が再起動します。

### ■ リセットする

設定内容をお買い上げ時の出荷時設定の状態に戻します。

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[再起動／リセット]を順にクリックする
- 2 [リセット]をクリックする
- 3 [OK]をクリックする  
本製品が再起動し、設定がお買い上げ時の出荷時設定の状態に戻ります。

## デバイス管理

この設定は、本製品を外部のデバイス管理サービスに接続し、遠隔で設定変更や監視を行うための機能である LwM2M(Lightweight Machine to Machine)の利用を切替えるものです。

デバイス管理サービスを利用する場合の注意点：

デバイス管理機能を有効にすると、本製品は常にデバイス管理サーバーとの間で通信を行い、デバイスの状態監視や設定情報の更新を自動的に実施します。

ただし、有効のままにしておくと、サーバーとの間で定期的な情報送受信が行われるため、不要なデータ通信が発生し通信量を消費する場合があります。

デバイス管理サービスを利用しない場合：

この機能は不要です。デバイス管理を無効に設定してください。

デバイス管理機能をご使用になる場合は、デバイス管理サービス事業者にお問合せください。

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[デバイス管理]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

デバイス管理	デバイス管理の有効/無効を選択します。 ●有効 ●無効（初期値）
--------	--



#### 注意

- デバイス管理サービスの契約を行っていない場合は、機能を有効にしないでください。不要な通信が発生いたします。

## システムログ

本製品の動作ログの取得ができます。

- 3 設定ツール画面で[システム]→[システムログ]を順にクリックする
- 4 以下の項目を設定する

ログ項目	ログを取得する項目にチェックします。
ログレベル	ログレベルを選択します。 ログレベルは低い順に debug、info、warning、error です。 ●none（初期値） ●error ●warning ●info ●debug

- 5 [設定]をクリックする
- 6 ログを保存する場合は、[エクスポート]をクリックする  
パソコンのわかりやすい場所を選択して保存してください。



# 3

## USB モデムモードで 接続する

USB モデムモードについて .....	73
USB モデムモードを設定する .....	73
UNIX-35GL PC Utility をインストールする .....	74
UNIX-35GL PC Utility をアンインストールする .....	78
各種機能を設定する (UNIX-35GL PC Utility) .....	79
UNIX-35GL PC Utility の画面 .....	79
セキュリティ .....	82
ME-PIN .....	82
SIM-PIN 設定 .....	84
ネットワーク .....	87
ネットワークモード .....	87
サブネットマスク .....	88
SIM 管理 .....	89
システム .....	91
自動インストール .....	91
動作温度閾値 .....	92
動作モード .....	93
ブリッジモード .....	93
FW 更新 .....	94
デバイス設定 .....	97
デバイス制御 .....	97
モバイルブロードバンドを使う (Windows) .....	98
接続する .....	98
切断する .....	103
ブリッジモード (イーサネットポート) を使う .....	104
事前準備 .....	104
ブリッジモードにする .....	105
ブリッジモードからルーターモードに戻す .....	105
接続・切断を制御する .....	106

## USB モデムモードについて

USB モデムモードはアドレス変換を行わず、WAN の IP アドレスをブリッジ接続することができます。



### 注意

- USB モデムモードでは、Web ブラウザの設定ツールをお使いになれません。  
また、イーサネットによる通信はできません。

## USB モデムモードを設定する

- 1 設定ツール画面で[システム]→[動作モード] を順にクリックする
- 2 [動作モード]から[USB モデム]を選択する
- 3 [適用]をクリックして本製品を再起動する  
再起動後に「UNIX-35GL PC Utility をインストールする」(P.74)の手順で UNIX-35GL PC Utility とドライバをインストールします。

## UNIX-35GL PC Utility をインストールする

[動作モード]を USB モデムに設定し、本製品が再起動すると UNIX-35GL PC Utility とドライバをインストールすることができます。

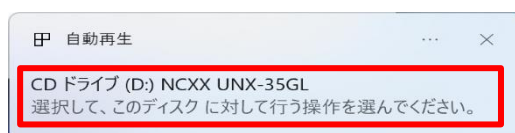
Windows 11 搭載のパソコンにインストールする場合を例にして説明しています。



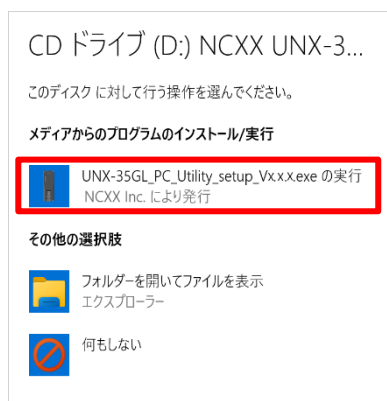
### 注意

- UNIX-35GL PC Utility とドライバのインストール中に本製品を取り外さないでください。

### 1 再起動後に表示される CD ドライブの自動再生タブをクリックする

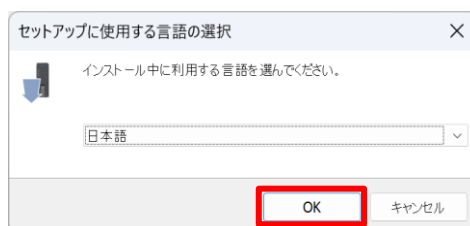


### 2 [UNIX-35GL\_PC\_Utility\_setup\_Vx.x.x.exe] をクリックする

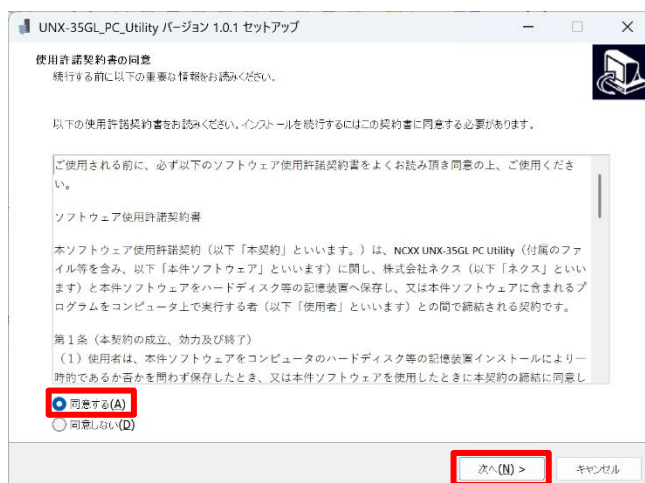


### 3 [ユーザーアカウント制御]の画面が表示される場合は[はい]をクリックする

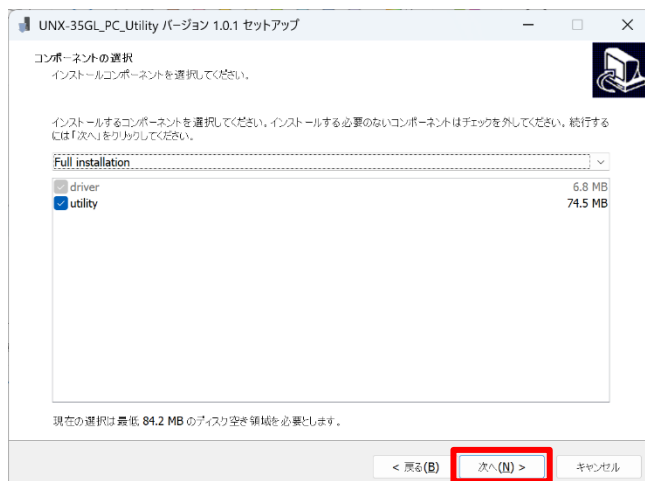
### 4 セットアップに使用する言語を選択し[OK]をクリックする



## 5 使用許諾契約の内容をお読みの上、[同意する]を選択し[次へ]をクリックする



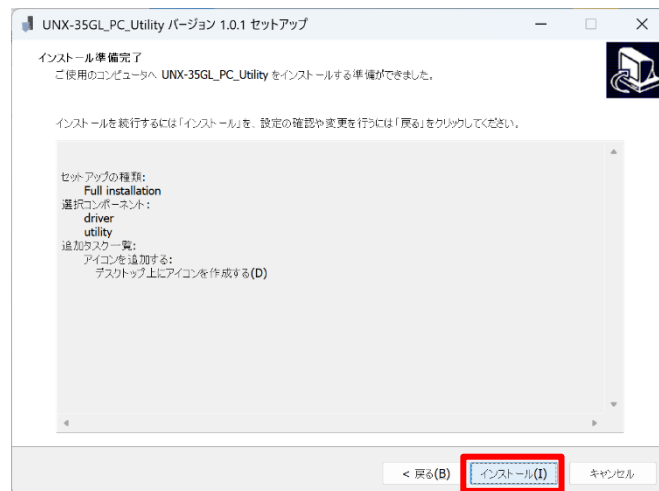
## 6 [Utility]にチェックが入っていることを確認して[次へ]をクリックする



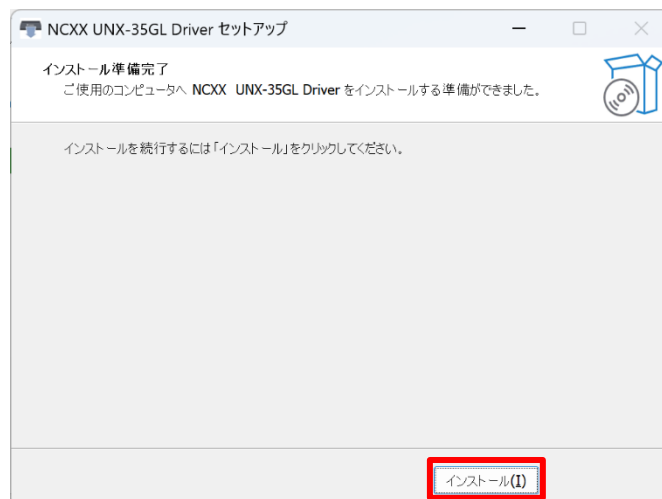
## 7 [デスクトップ上にアイコンを作成する]のチェックを選択して[次へ]をクリックする



## 8 インストールの内容を確認して[インストール]をクリックする



## 9 UNX-35GL PC Utility のインストールが終了したら、[インストール]をクリックしてドライバをインストールする



- 10 [NCXX UNX-35GL Driver セットアップウィザードの完了]、[UNX-35GL\_PC\_Utility セットアップウィザードの完了]が表示されたら、それぞれ[完了]をクリックする  
UNX-35GL PC Utility が起動し画面が表示されます。 →「UNX-35GL PC Utility の画面」(P.79)  
本製品は USB モデムモードで起動します。

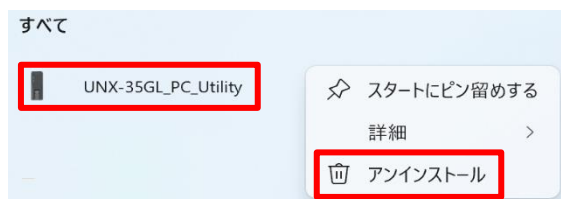


## UNIX-35GL PC Utility をアンインストールする

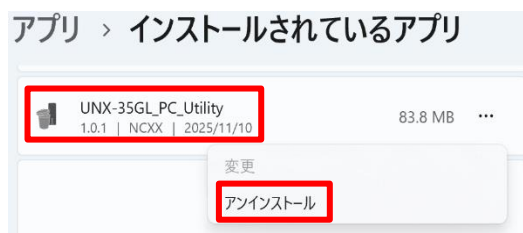
インストールした UNIX-35GL PC Utility を使用しなくなった場合はパソコンから UNIX-35GL PC Utility をアンインストールします。

Windows 11 搭載のパソコンにアンインストールする場合を例にして説明しています。

- 1 [スタート] (Windows アイコン) をクリックし、表示されたメニューをスクロールさせ、[UNIX-35GL\_PC\_Utility] を右クリックし→[Uninstall UNIX-35GL\_PC\_Utility] をクリックする

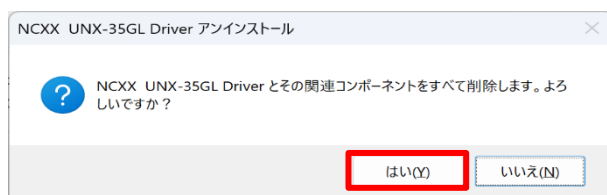


- 2 インストールされているアプリに表示される「UNIX-35GL\_PC\_Utility」の右にある「…」をクリックすると表示されるアンインストールをクリックします。

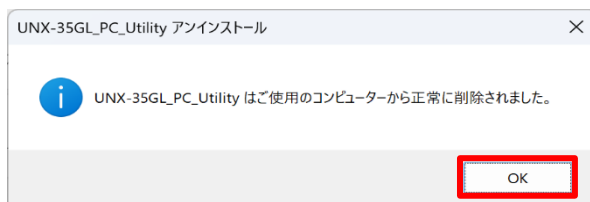


- 3 [ユーザーアカウント制御]の画面が表示される場合は[はい]をクリックする

- 4 [はい]をクリックして、アンインストールする



- 5 UNIX-35GL PC Utility がアンインストールされたら、[OK]をクリックする



## 各種機能を設定する(UNIX-35GL PC Utility)

本製品と USB 接続した Windows のパソコンから、UNIX-35GL PC Utility を利用して本製品の各種機能を設定することができます。

### UNIX-35GL PC Utility の画面

UNIX-35GL PC Utility の画面について説明します。



#### ① 設定メニュー

#### ② ヘルプ

取扱説明書(本書)を PDF ファイルで表示します。

#### ③ 言語設定

言語を設定します。

#### ④ UNIX-35GL PC Utility 終了

UNIX-35GL PC Utility を終了します。

#### ⑤ デバイス情報

現在の動作モード、SIM の電話番号、本機の IMEI を表示します。



## 6 接続状態

接続状態及び、エラー情報を表示します。

## 7 Information







動作状態などを表示します。

## 8 バージョン

UNIX-35GL PC Utility 及び、本機のバージョンを表示します。

## 9 状態表示

### 5G／4G 電波状態

表示						
状態	圏外	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5


### 通信方式

表示		
状態	5G 通信	4G 通信

### 通信事業者

通信事業者名が表示されます。




### 電源状態

表示			
状態	DC IN 5V 給電時	7.5W モード	4.5W モード

### 温度上昇警告

表示		
状態	高温による 通信制限中	高温による 通信停止中

## SIM カード

表示			
状態	SIM カード未挿入/ PIN コード、PIN ロックコード入力による解除待ち	SIM1 を使用中/ SIM2 は未挿入検出状態	SIM2 を使用中/ SIM1 は未挿入検出状態

表示				
状態	SIM1 を使用中/ SIM2 挿入状態	SIM2 を使用中/ SIM1 挿入状態	SIM1 を使用中/ SIM2 挿入状態/ 自動切換え設定中	SIM2 を使用中/ SIM1 挿入状態/ 自動切換え設定中

## 国際ローミング

表示		
状態	SIM1 国際ローミング時	SIM2 国際ローミング時

# セキュリティ

## ME-PIN

ME-PIN とはセキュリティを向上させるため、本製品の起動時に 5G/4G の通信を停止（ロック）することができる機能です。



### 注意

- 設定した ME-PIN は、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。

### ■ ME-PIN の設定を有効にする

ME-PIN[無効]の場合、ME-PIN を有効にすることができます。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[セキュリティ]をクリックする
- 2 [ME-PIN]の[有効]を選択する
- 3 [ME-PIN]の[自動入力]にチェックするかを選択し、「適用」をクリックする  
ME-PIN の[自動入力]にチェックを付けた場合、起動時に ME-PIN が自動で入力され、ロックが解除されます。
- 4 ME-PIN コードを入力する  
6 文字の半角英数字が使用可能です。
- 5 [OK]をクリックする

### ■ ME-PIN の設定を無効にする

[ME-PIN 有効]の場合、ME-PIN を無効にすることができます。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[セキュリティ]をクリックする
- 2 [ME-PIN]の[無効]を選択し、「適用」をクリックする
- 3 ME-PIN コードを入力する  
6 文字の半角数字が使用可能です。
- 4 [OK]をクリックする

## ■ ME-PIN を解除する

[ME-PIN 有効]の場合、本製品の電源を入れるたびに ME-PIN コードを入力します。[ME-PIN 自動入力]にチェックを付けた場合は ME-PIN コードの入力は不要です。

ME-PIN コードを解除するまでインターネットに接続できません。

1 起動後に表示される[ME-PIN コード]に現在の ME-PIN コードを入力する  
6 文字の半角数字が使用可能です。

2 [OK]をクリックする



### お知らせ

- ME-PIN コードを万が一お忘れになられた場合は、リセットボタンを5秒以上押し続けて、お買い上げ時の出荷時設定の状態に戻してください。

## SIM-PIN 設定

SIM カードには、「PIN コード」という暗証番号があります。この暗証番号により、ユーザー固有データと第 3 者不正使用に対する強力なセキュリティ機能を実現しています。

お買い上げ時、PIN コードは無効になっています。有効にすることで、紛失、または盗難にあった際、不正に使用されることがありません。

本設定を行うには、事前にプロファイル設定を行ってください。

また、設定は、優先 SIM に対して行えます。非優先 SIM 側の設定を行う場合は、優先 SIM 設定で切替えてから行ってください。



### 注意

- PIN コードの初期値は通信事業者により異なります。
- PIN コードには「生年月日」、「電話番号の一部」など他人にわかりやすい番号は避けてください。また、設定した PIN コードは、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。
- PIN コードや PIN ロック解除コード(PUK)は、他人に知られないように十分に注意してください。
- PIN コードの入力を 3 回連続で間違えた場合、PIN ロック解除コードが必要になります。ご契約の通信事業者にご確認ください。
- PIN ロック解除コードの入力を 10 回連続で間違えると、PUK ロック状態となります。その場合は、ご契約の通信事業者の窓口へお問い合わせ下さい。
- SIM 自動切替え機能で、PIN ロック機能を使用する場合は、事前に SIM1、SIM2 の PIN コード設定を行い、PIN 自動入力を有効にしてください。

## ■ SIM(1 または 2)-PIN 設定を有効にする

[SIM(1 または 2)-PIN 無効] の場合、PIN コードの設定を有効にすることができます。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[セキュリティ]をクリックする
- 2 [SIM(1 または 2)-PIN 設定] の[有効]を選択する
- 3 [SIM(1 または 2)-PIN 設定] の[自動入力]にチェックするかを選択する  
[自動入力]にチェックを付けた場合、起動時に PIN コードが自動で入力され、ロックが解除されます。
- 4 [適用]をクリックする
- 5 SIM(1 または 2)-PIN コードを入力する  
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 6 [OK]をクリックする

## ■ SIM(1 または 2)-PIN 設定を無効にする

[SIM(1 または 2)-PIN 有効]の場合、PIN コードの設定を無効にすることができます。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[セキュリティ]をクリックする
- 2 [SIM(1 または 2)-PIN 設定] の[無効]を選択する
- 3 [適用]をクリックする
- 4 SIM(1 または 2)-PIN コードを入力する  
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 5 [OK]をクリックする

## ■ SIM(1 または 2)-PIN コードを変更する

[SIM(1 または 2)-PIN 有効]の場合、PIN コードを変更することができます。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[セキュリティ]をクリックする
- 2 [SIM(1 または 2)-PIN 設定]の[変更]をクリックする
- 3 [適用]をクリックする
- 4 現在の PIN コード、新しい PIN コード、新しい PIN コード(確認用)を入力する  
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 5 [OK]をクリックする

## ■ SIM(1 または 2)-PIN コードを解除する

[SIM(1 または 2)-PIN 有効]の場合、本製品の電源を入れるたびに PIN コードを入力します。  
[SIM(1 または 2)-PIN 自動入力]にチェックを付けた場合は PIN コードの入力は不要です。  
PIN コードを解除するまでインターネットに接続できません。

- 1 起動後に表示される[SIM(1 または 2)-PIN/PUK コード]に現在の PIN コードを入力する  
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 2 [OK]をクリックする

## ■ SIM(1 または 2)-PIN ロックを解除する

PIN コードの入力を 3 回連続で間違えると、設定した PIN コードが無効になり、すべての機能がロックされ、PIN ロック状態となります。その場合、PIN ロックの解除コード(PUK)の入力により、PIN コードを再発行する事ができます。

PIN ロックの解除コード(PUK)については、ご契約の通信事業者にご確認ください。

- 1 起動後に表示される[SIM(1 または 2)-PIN/PUK コード]にご利用中の SIM カードの PIN ロックの解除コード(PUK)を入力する  
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 2 新しい SIM(1 または 2)-PIN コードを入力する  
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 3 [OK]をクリックする

## ネットワーク

### ネットワークモード

使用するネットワークモードや通信事業者を設定します。

#### ■ ネットワークモードを設定する

1 UNX-35GL Utility 画面で[ネットワーク]をクリックする

2 [ネットワークモード]にて以下の項目を設定する

ネットワークモード	<p>使用するネットワークモードを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 自動（初期値） 5G SA/4G の通信方式が利用できます。</li><li>● 5G Only 5G SA の通信方式が利用できます。</li><li>● 4G Only 4G の通信方式が利用できます。</li></ul>
-----------	---

3 [OK]をクリックする



## サブネットマスク

WAN 側のサブネットマスクを指定します。

1 UNX-35GL Utility 画面で[ネットワーク]をクリックする

2 [サブネットマスク]にて、以下の項目を設定する

自動接続	<p>自動接続を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Dynamic(初期値) 自動で設定されます。 WAN 側のネットワーク規模が不明な場合に選択します。</li><li>● Dynamic with ABC WAN 側の IP クラスフルアドレッシング(クラス A,B,C)により自動で設定されます。</li><li>● Static サブネットマスクを手動で設定します。 「Static」選択後、右の空欄にサブネットマスクの IP 範囲、0.0.0.0～255.255.255.255 を入力する。</li></ul>
------	--

3 [適用]をクリックする

4 [OK]をクリックする  
本製品が再起動します。



### お知らせ

- WAN 側のネットワーク構成を変更したい場合に設定します。

## SIM 管理

本製品には、2つの SIM を入れられますが、DSSS「Dual SIM Single Standby(デュアル SIM シングルスタンバイ)」方式となり、どちらか片方のみが有効になります。2つの SIM を入れた場合は、優先させる SIM を選択し、自動切替えの有効／無効の設定を行うことができます。



### 注意

- SIM を 1 枚で使用する場合は、SIM1 スロットへ挿入してください。
- SIM 自動切替え機能で、PIN ロック機能を使用する場合は、事前に SIM1、SIM2 の PIN コード設定を行い、PIN 自動入力を有効にしてください。
- SIM 自動切替え機能はルーターモードでのみ使用できます。USB モデムモードで使用されている場合には本機能の設定はできません。

## ■ 優先 SIM を設定する

通常使用する SIM を設定します。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[ネットワーク]をクリックする
- 2 [SIM 管理]の[優先 SIM]にて、以下の項目を選択する

優先 SIM	優先する SIM を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● SIM1 (初期値)</li><li>● SIM2</li></ul>
--------	--

## ■ 自動切替えを設定する

自動切替え機能は、通信状態を監視して、通信障害発生時にもう一方の SIM へ切替えて通信を行う機能です。「SIM1」「SIM2」に両方挿入された場合に有効となる機能です。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[ネットワーク]をクリックする
- 2 [SIM 管理]の[自動切替え]にて、以下の項目を選択する

自動切替え	自動切替え機能の有効／無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効 (初期値)</li></ul>
-------	--

- 3 [接続時]、および[通信時]にて、以下の自動切替え機能の各種切替条件を設定する

接続時の監視時間を設定します。

監視時間 (分)	ネットワークへ接続するまでの時間を監視します。 3 分 (初期値) 3 ~ 10 分が使用可能です。
----------	--

通信時の判定条件を設定します。

電界強度判定	通信中の疎通確認時に電界強度チェックを行うかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効（初期値）</li></ul>
電界強度閾値（dBm）	本設定値以下（受信レベルが低い）の場合は疎通確認を行いません。 -100dB（初期値） -70 ～ -130dB が選択可能です。
通信断確認 IP アドレス	通信中の疎通確認のための ping の送信先 IP アドレスを設定します。 8.8.8.8（初期値） 0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 の半角数字が使用可能です。 ping 応答が可能な IP アドレスを指定してください。
PING 送信回数（回）	切替えを行うための判定回数を指定します。 監視周期毎に ping 送信を行い、本設定回数、連続で失敗した場合に SIM 切替え動作を実施します。 3 回（初期値） 1 ～ 20 回が選択可能です。
監視周期（分）	通信中の疎通確認のための ping の送信の周期を設定します。 1 分（初期値） 1 ～ 5 分が選択可能です。

#### 4 [非優先 SIM]の動作条件を設定する

非優先 SIM 側に切り替わった後の動作条件を設定します。

接続時間監視	非優先側の接続時間監視の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効（初期値）</li></ul>
接続時間（時間）	非優先 SIM 側に切り替わった後の通信時間を設定します。 本設定時間を超えた場合、優先 SIM 側に切り替わります。 1 時間（初期値） 1 ～ 120 時間が選択可能です。

#### 5 入力内容を確認して、[適用]をクリックする



- 接続時間監視を無効にした場合は、切替え条件で切り替わります。

## システム

### 自動インストール

本製品を USB モデムモードで起動時に UNX-35GL PC Utility とドライバのインストールを自動で行うかを設定できる機能です。

自動インストールが有効に設定されている場合、本製品起動時はインストール CD-ROM ドライブとして認識されます。USB モデムモードを使用するには UNX-35GL PC Utility を起動する必要があります。

ルーターモードでは自動インストールの設定を行うことはできません。

1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする

2 [自動インストール]にて、以下の項目を設定する

自動インストール	UNX-35GL PC Utility とドライバの自動インストールの有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効(初期値)</li><li>● 無効</li></ul>
----------	--

3 [OK]をクリックする

## 動作温度閾値

ケースの表面温度を設定した温度閾値に制限する機能です。

Class A(75°C)は据置用途、Class B(60°C)はモバイル用途での使用を推奨します。

1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする

2 [動作温度閾値]にて、以下の項目を設定する

動作温度閾値	<p>動作温度閾値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Class A(75°C) (初期値) ケースの表面温度が約 75°Cに達したときに通信を停止します。</li><li>● Class B(60°C) ケースの表面温度が約 60°Cに達したときに通信を停止します。</li></ul>
--------	--

※通信停止中は温度上昇警告ランプが赤色に点灯します。

通信停止後、温度が下がり温度上昇警告ランプが消灯したら使用を再開できます。



### 注意

- 使用中、本製品の表面温度が上昇すると、温度上昇警告ランプが橙点滅または赤点灯することがあります。そのような場合、継続して触れることがないようにご注意ください。やけどの原因となります。

3 [OK]をクリックする

本製品が再起動します。

4 [OK]をクリックする

## 動作モード

ルーターモードと USB モデムモードを切替えます。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 [動作モード]にて、以下の項目を設定する

動作モード	動作モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● USB モデム</li><li>● ルーター</li></ul>
-------	---

- 3 [OK]をクリックする  
本製品が再起動します。

## ブリッジモード

ブリッジモードの有効/無効を切替えます。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 [ブリッジモード]にて、以下の項目を設定する

ブリッジモード	ブリッジモードの有効/無効を切替えます。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有効</li><li>● 無効(初期値)</li></ul>
---------	---

- 3 [OK]をクリックする  
本製品が再起動します。



### お知らせ

- USB モデムモードでは本機能の設定はできません。

ブリッジモードについては、「ブリッジモード(イーサネットポート)を使う」(P.104)をご参照ください。

## FW 更新

FW(ファームウェア)は本製品を動作させるソフトウェアのことです。FW を更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。

FW は最新のバージョンで使用してください。

### 1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする

### 2 [FW 更新]にて、以下の項目を設定する

FW 更新	<p>FW 自動更新の有効/無効を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 自動更新有効 定期的にアップデート情報を確認して、新しい FW が見つかりと自動で FW をオンラインでアップデートします。 約 5～15 分程度でアップデートは終了します。 ※ネットワーク回線の通信状況により時間が長くなる場合があります。</li><li>● 自動更新無効(初期値)</li></ul>
-------	--

### 3 [OK]をクリックする

## ■ FW 更新(FOTA)

USB モデムモードでご利用中に、必要な時にアップデート情報を確認して、新しい FW が見つければオンラインでアップデートできます。

ルーターモードでは「FW 更新(FOTA)」をクリックすることはできません。

本機能は設定ツールの「オンラインでアップデートする」(P.69)でご利用になれます。

### 1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする

### 2 [FW 更新]の[FW 更新(FOTA)]をクリックする

### 3 [OK]をクリックする

約 5～15 分程度でアップデートは終了します。

※ネットワーク回線の通信状況により時間が長くなる場合があります。



#### 注意

- FW アップデート中は電源を切らないでください。
- FW アップデートは電波状態の良いところで行ってください。電波状態が悪い場合にはアップデートを中断することがあります。

## ■ プロファイル設定

USB モデムモードで[FW 自動アップデート]を[有効]に設定、または[FW 更新(FOTA)]をクリックして FW のアップデートを行う場合に APN(アクセスポイント名)プロファイルを設定します。

モバイルブロードバンドについては、「モバイルブロードバンドを使う(Windows)」(P.98)をご参照ください。



### お知らせ

- 設定ツールの[プロファイル管理](P.44)でプロファイルを設定されている場合は、その内容が表示されます。

### 1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする

### 2 [FW 更新]の[プロファイル設定]をクリックする

[プロファイル名]、[APN]、[ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[認証方式]、[IP タイプ]を選択します。

プロファイル名	任意のプロファイル名を入力します。 半角英数および記号( , " ; \ & % + ' < > ? を除く) 最大 32 文字が使用可能です。
APN	事業者より提供されている APN を入力します。 半角英数最大 62 文字、.(ドット)、-(ハイフン)が使用可能です。
IP タイプ	接続方式を選択します。 ●IPv4      ●IPv6      ●IPv4/v6
認証方式	事業者より指定される認証方式を選択します。 ●None      ●PAP      ●CHAP
ユーザー名	事業者より提供されているユーザー名を入力します。 半角英数および記号( , " ; \ & % + ' < > ? を除く) 最大 64 文字が使用可能です。
パスワード	事業者より提供されているパスワードを入力します。 半角英数および記号( , " ; \ & % + ' < > ? を除く) 最大 32 文字が使用可能です。
SIM 選択	使用する SIM を選択します。 ● SIM1 (初期値) ● SIM2

### 3 入力内容を確認して、[保存]をクリックする

### 4 [プロファイル設定に成功しました。]が表示されたら[OK]をクリックする

### 5 右上の[X]をクリックする



## ■ FW 更新(Local)

製造元のホームページからダウンロードした FW を手動でアップデートすることができます。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 製造元のホームページから最新の FW をダウンロードする
- 3 [FW 更新]の[FW 更新(Local)]をクリックする
- 4 [OK]をクリックする
- 5 ダウンロードした最新の FW を選択する
- 6 [OK]をクリックする  
約 5～15 分程度でアップデートは終了します。  
※ネットワーク回線の通信状況により時間が長くなる場合があります。



### 注意

- FW アップデート中は電源を切らないでください。

## デバイス設定

### ■ バックアップ

本製品に設定した内容をパソコンに保存します。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 [デバイス設定]の[バックアップ]をクリックする
- 3 [OK]をクリックする

### ■ リストア

パソコンに保存した設定内容を読み込みます。

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 [デバイス設定]の[リストア]をクリックする
- 3 パソコンに保存したファイルのパスとファイルを選択し、[開く]をクリックする
- 4 [OK]をクリックする  
本製品が再起動します。

## デバイス制御

### ■ 再起動

- 1 UNX-35GL Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 [デバイス制御]の[再起動]をクリックする
- 3 [OK]をクリックする  
本製品が再起動します。



#### お知らせ

- ご使用になる PC 環境によっては、本製品が再起動してから UNX-35GL PC Utility が本製品を再認識するまでに時間がかかる場合があります。

## モバイルブロードバンドを使う(Windows)

Windows パソコンに搭載されているモバイルブロードバンドの機能を利用して通信を行うことができます。

モバイルブロードバンドの機能を使用する場合は USB モデムモードに設定し、ドライバと UNX-35GL PC Utility をインストールしてください。

Windows 11 搭載のパソコンでモバイルブロードバンドを使用する場合を例にして説明しています。

### 接続する

Windows の自動設定により、ご利用になる SIM カードによっては APN 設定を行わなくても接続できる場合があります。その場合は以下の手順を行う必要はありません。

#### 1 パソコンのデスクトップに作成された「UNX-35GL\_PC\_Utility」のアイコンをダブルクリックして UNX-35GL PC Utility を起動する

本製品は自動インストールモードから USB モデムモードに切替わります。



#### お知らせ

- 自動インストールを無効に設定している場合は、UNX-35GL PC Utility を起動しないで USB モデムモードに切替えることができます。「自動インストール」(P.91)

#### 2 [スタート](Windows アイコン)→[設定](歯車アイコン)→[ネットワークとインターネット]を順にクリックする



### 3 [携帯電話]が表示されます

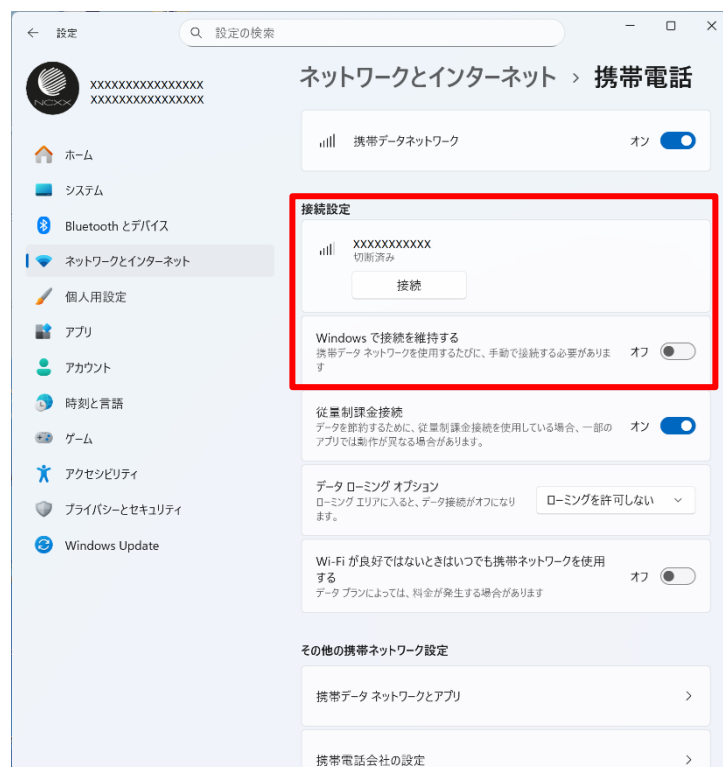
- ① [携帯電話]欄のスイッチが「オン」になっていることを確認し、[携帯電話]をクリックします。



- ② [接続設定]欄の[Windows で接続を維持する]のスイッチが「オン」になっていて、「接続済み」と表示される場合は以降の設定手順は不要です。

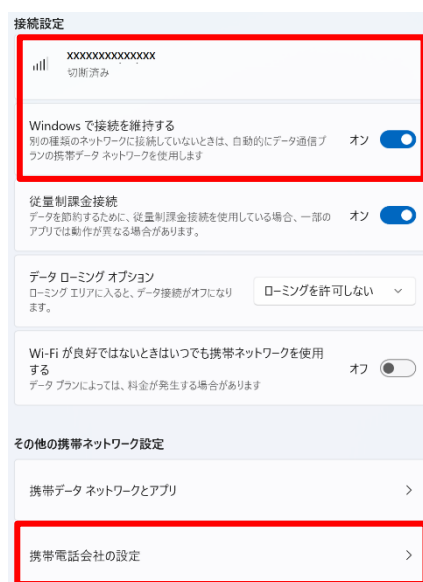


- ③ [Windows で接続を維持する]が「オフ」になっていて、「切断済み」と表示される場合は、「オン」にして接続確認を行ってください。



状態が「接続済み」となった場合は以降の設定手順は不要です。

状態が「切断済み」のままである場合は、「その他の携帯ネットワーク設定」欄の[携帯電話会社の設定]をクリックして、手順 4 へ進みます。



#### 4 [APN 設定]欄の[APN を追加]をクリックする



#### 5 通信事業者から提供された情報を入力して、[APN の種類]欄で「インターネットおよびアタッチ」を選択し、[このプロファイルを適用する]がチェックされていることを確認のうえ[保存]をクリックする

APN を編集

プロファイル名  
|

APN  
|

ユーザー名  
ユーザー名

パスワード  
パスワード

サインイン情報の種類  
なし

IP の種類  
既定

APN の種類  
インターネットおよびアタッチ

☒ このプロファイルを適用する

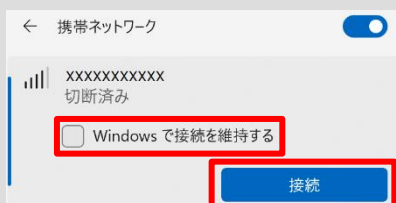
保存      キャンセル

- 6 手順 4 の画面で[インターネット APN]設定が保存され、[アクティブ化済み]、または[ライセンス認証済み]と表示されることを確認する



#### お知らせ

- [アクティブ化中]と表示された場合、ネットワークに接続されていません。
- 手順 3 の画面で[接続]または[Windows で接続を維持する]のチェックボックスをクリックしてネットワークに接続してください。



## 切断する

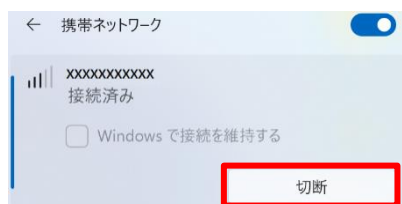
切断する場合は、以下の手順を行ってください。

1 タスクトレイの  をクリックする

2 表示された  をクリックする

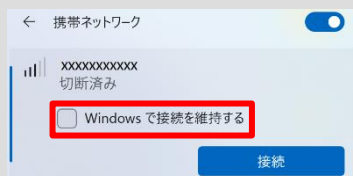


3 [切断]をクリックする



### お知らせ

- [Windows で接続を維持する]のチェックボックスにチェックを入れて接続していた場合は、チェックボックスをクリックすることで切断されます。





## ブリッジモード（イーサネットポート）を使う

ブリッジモードはイーサネットポートに接続する機器（パソコン）へアドレス変換を行わず、WAN の IP アドレスをブリッジ接続することができます。

USB 機能が搭載されていない機器からでも本製品のイーサネットポートに接続してデータの送受信ができます。

### 事前準備

ブリッジモードへ切替えるには事前準備が必要です。

本製品の USB プラグをパソコンに接続して、以下の手順で設定を行ってください。

#### 1 UNX-35GL PC Utility をインストールする

ブリッジモードへの切替えは、UNX-35GL PC Utility で切替えを行います。

UNX-35GL PC Utility のインストールは「UNX-35GL PC Utility をインストールする」(P.74)を参照してインストールを行ってください。

#### 2 ルーターモードへ切替える

UNX-35GL PC Utility を使用して動作モードをルーターモードへ切替えます。

→「動作モード」(P.93)

#### 3 接続情報を設定する

ルーターモードで通信を行うための設定と同じ設定を行います。

ブリッジモードへ切替えた後は設定ツールが使用できませんので、切替える前に以下の設定を完了してください。

以下は接続に必要な最低限の設定です。

- ① 設定ツール画面の[WAN 設定]→[ネットワーク設定]→[ネットワーク設定]で以下の接続情報を設定します。→「ネットワーク設定」(P.41)

ネットワークモード	使用するネットワークモードを設定してください
ネットワーク検索	自動に設定してください
自動接続	自動接続(ローミング除く)または、自動接続に設定してください

- ② 設定ツール画面の[WAN 設定]→[プロファイル管理]で以下のプロファイル情報を設定します。→「プロファイル管理」(P.44)

プロファイル管理	接続 APN プロファイルを設定します
----------	---------------------

- ③ 設定ツール画面の[WAN 設定]→[SIM 管理]以下のプロファイル情報を設定します。  
→「SIM 管理」(P.45)

優先 SIM

優先 SIM 設定を設定します

上記プロファイルで設定した SIM スロットを選択してください

## ブリッジモードにする

ブリッジモードにするには、ルーターモード状態で、UNIX-35GL PC Utility を使用して、ブリッジモードを有効にしてください。→「ブリッジモード」(P.93)

切替えたあとは、USB プラグをパソコンから取り外してイーサネットで通信ができます。  
ブリッジモードでの接続例は、「ブリッジモード（イーサネットポート）」(P.6)の図を参照してください。



### お知らせ

- 本製品の USB プラグがパソコンに接続されていないときは、設定ツールや UNIX-35GL PC Utility は使用できません。SIM-PIN や ME-PIN が解除できなくなりますので、有効にしないでください。

## ブリッジモードからルーターモードに戻す

ブリッジモードを無効にする場合、UNIX-35GL PC Utility を使用して、ブリッジモードを無効にしてください。

→「ブリッジモード」(P.93)

## 接続・切断を制御する

接続・切断の制御を行う場合は、USB プラグを機器(パソコン)に接続して、AT コマンドを発行する必要があります。

AT コマンドを使用するには、ターミナルソフトが必要です。

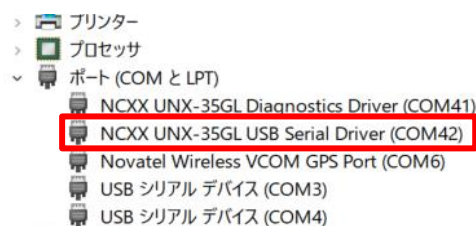
ターミナルソフトを用いて AT コマンドにより接続・切断の制御を行います。

### 1 UNX-35GL PC Utility を終了する

ターミナルソフトを用いる場合は、COM ポートが競合するため、UNX-35GL PC Utility を終了します。

### 2 USB モデムの COM ポートを確認する

- ① PC 環境において、[スタート]メニューを右クリック→[デバイスマネージャー]を選択します。
- ② [ポート(COM と LPT)]から“NCXX UNX-35GL USB Serial Driver”の COM ポート番号を確認してください。



### 3 ターミナルソフトを起動し、AT コマンド入力状態にする

事前に準備したターミナルソフトを起動して、上記、2 で確認した COM ポートに接続します。コマンドエコーで入力した AT コマンドを確認したい場合は、ATE1 コマンドを発行してください。

### 4 接続・切断を制御する

以下のコマンドを送信することで接続・切断を制御することができます。

AT+MGOP=autocon,2	ローミングなしで接続する。
AT+MGOP=autocon,1	ローミングありで接続する。
AT+MGOP=autocon,0	切断する。

※上記、接続の設定状態であれば、自動接続になります。

この設定状態であれば、電源を OFF/ON しても接続を行います。

# 4

## 付録

故障かな？と思ったら .....	108
エラーコード .....	110
メニュー一覧 (Web ブラウザ) .....	112
メニュー一覧 (UNIX-35GL PC Utility) .....	118
仕様 .....	121
本製品の比吸収率(SAR)などについて .....	122
本製品の比吸収率 (SAR) について .....	122
FCC Regulations .....	123
Radio Wave Exposure Information .....	123
European RF Exposure Information .....	124
Regulatory conformance .....	124
輸出管理規制 .....	125
知的財産権について .....	125
その他 .....	126
携帯電話/PHS のリサイクルについて .....	126
お問合せ先 .....	127

## 故障かな？と思ったら

本製品が正常に動作しない場合は、まず以下の項目をご確認ください。

症状	確認内容
本製品の電源が入らない、リセット動作を繰り返し起動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品の USB プラグ、もしくは DC IN 5V ポートに USB ケーブルが正しく差し込まれていることを確認してください。</li> <li>●省エネタイプのパソコンでは USB ポートへの電源を OFF にしているものがあります。本製品の表示ランプが消灯している場合は本製品への電源が供給されていない可能性がありますので、パソコンの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。</li> <li>●接続するパソコンのスリープ中に USB ポートから他の機器へ給電する設定が有効な場合、再起動を繰り返す場合があります。BIOS の設定でスリープ中に USB ポートから他の機器へ給電する設定を無効でご使用ください。</li> </ul>
操作中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●操作中、本製品が熱くなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。</li> </ul>
通信できない/ 通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品に SIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。</li> <li>●プロファイル情報([ユーザー名]、[パスワード]、[APN])で英数字の入力間違い、前後の余分なスペース(空白)などが入力されていないかを確認してください。</li> <li>●5G/4G ランプが赤点灯している場合 SIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。 SIM カードの PIN コードが有効、または PIN ロック状態、完全ロック状態になっている可能性があります。PIN コードの設定を確認してください。</li> </ul>

症状	確認内容
<p>通信できない/ 通信速度が遅く感じる (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●5G/4G ランプが赤点滅している場合 本製品の USB プラグ、もしくは DC IN 5V ポートに接続されている USB ケーブルを一度取り外してから、再度差し込み、本製品を再起動してください。 それでも改善しない場合は、本製品を電波の入りやすい場所に設置し直してください。</li> <li>●電波の性質または時間帯による電波の混み具合により、通信が途切れる等正常にご利用できない場合があります。場所を移動するか、しばらく待ってからご使用ください。</li> <li>●本製品の温度が高い状態が続くと、通信を制限する場合があります。通信制限中の表示は以下から確認できます。 →「LED ランプ」(P.29) →「設定ツールの画面」(P.38) →「UNIX-35GL PC Utility の画面」(P.79)</li> <li>●接続するパソコン、AC アダプタ(市販品)、USB ケーブル(市販品)によっては電波を受信しにくくなる場合があります。 パソコン、AC アダプタはできるだけ離してご使用ください。 延長ケーブルを使用する場合は、シールド効果の高い市販品で、1m 以下のものをご使用ください。(電圧降下により動作が不安定になることがあります)</li> </ul>
<p>設定ツールや UNIX-35GL PC Utility がうまく動かない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●途中まで動作する場合、あるいは一部の機能は動作するが全体としてうまく動作しない場合、設定が不適切な可能性があります。設定内容を確認してください。</li> <li>●パソコンの電源を一度 OFF にし、再度電源を ON にしてください。パソコンの電池残量を確認してください。電池の残量が少なくなると動作が不安定になることがあります。電池の残量が少ない場合は、パソコンに付属の AC アダプタを使用するか、新しい電池に交換してください。</li> </ul>
<p>イーサネット対応機器を接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品のイーサネットはお買い上げ時「無効」に設定されております。 イーサネットをご使用になる場合は「イーサネットインタフェース」(P.65)のステータス設定を「有効」にしてください。</li> </ul>
<p>海外で使えない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際ローミングサービスをご利用の場合は通信事業者とのご契約が必要です。ご契約の通信事業者へお問い合わせください。</li> <li>●設定ツール画面で[WAN 設定]→[ネットワーク設定]→[自動接続]を順にクリックし、[自動接続]または[手動]に設定してください。</li> </ul>

## エラーコード

通信エラーや機器の異常などをお知らせするエラーコードやエラーメッセージを設定ツールのステータス画面および UNIX-35GL PC Utility のホーム画面に表示します。

コード	内容	処置方法
–	SIM カードが無効または読み込めません。 Invalid or missing card	有効な SIM カードが正しく挿入されているかご確認ください。
7	EPS サービスが許可されていません。 EPS services not allowed	通信事業者にお問い合わせください。
8	未提供サービス試行による規制が発生しました。 EPS services and non-EPS services not allowed	通信事業者にお問い合わせください。
11	PLMN が許可されていません。 PLMN not allowed	サービスの契約が無効となっているか、サービスの禁止されている SIM カードでアクセスしようとしたことにより発生した可能性があります。通信事業者にお問い合わせください。
12	サービスをご使用になれないエリアです。 Tracking area not allowed	場所を移動するか、しばらくお待ち頂いてから電源を入れ直してください。
13	このエリアではローミングをご使用になれません。 Roaming not allowed in this tracking area	通信事業者にお問い合わせください。
14	お使いの SIM で、パケット通信サービスが許可されていません。 EPS services not allowed in this PLMN	通信事業者にお問い合わせください。
15	このエリアではご使用になれません。 No suitable cells in tracking area	通信事業者にお問い合わせください。
17	ネットワーク障害により、一時的に利用できません。 Network failure	電源を入れ直してもう一度接続してください。
19	通信ベアラ情報が正しくありません。 ESM failure	APN が正しく設定されているかご確認ください。
22	輻輳 Congestion	PLMN 固有のネットワーク障害および輻輳/認証障害の可能性があります。電源を入れ直してもう一度接続してください。
26	ネットワークリソース不足により接続を拒否されました。 Insufficient resources	しばらく時間を空けて、もう一度接続してください。
27	アクセスポイント名が含まれていない、またはアクセスポイント名が解決できないため接続を拒否されました。 Missing or unknown APN	APN が正しく設定されているかご確認ください。
29	ユーザー認証エラーにより、接続を拒否されました。 User authentication or authorization failed	ユーザー名、パスワードが間違っている可能性があります。ご確認ください。

コード	内容	処置方法
31	要求されたサービスが不特定の理由により拒否されました。 Request rejected, unspecified	通信事業者にお問い合わせください。
32	サポートしないサービス要求をしたために接続を拒否されました。 Service option not supported	通信事業者にお問い合わせください。
33	本製品が加入していないサービスオプション要求をしたため、接続を拒否されました。 Requested service option not subscribed	通信事業者にお問い合わせください。
38	ネットワーク内のエラー発生により切断されました。 Network failure	通信事業者にお問い合わせください。
43	Linked TI IE によって特定された PDU コンテキストの非活性状態が通知されました。 Invalid EPS bearer identity	もう一度接続してください。
46	LADN サービスのエリア外。 Out of LADN service area	通信事業者にお問い合わせください。
50	要求された PDU 接続は PDP タイプ IPv4 のみが許可されています。 PDN type IPv4 only allowed	IPv4 のみの設定に変更し、もう一度接続してください。
51	要求された PDU 接続は PDP タイプ IPv6 のみが許可されています。 PDN type IPv6 only allowed	IPv6 のみの設定に変更し、もう一度接続してください。
54	PDU セッションが存在しない。 PDN connection does not exist	もう一度接続していただくか、電源を入れなおしてください。
70	スライスに DNN がいないか不明。 Missing or unknown DNN in a slice	通信事業者にお問い合わせください。
95	意味的に間違ったコンテンツを持つメッセージを受信しました。 Semantically incorrect message	通信事業者にお問い合わせください。
219	APN、ユーザー名、パスワードのいずれかに誤りがある可能性があります。	設定ツール、Windows 携帯電話の設定確認を行ってください。解決しない場合は、お手持ちのユーザー名、パスワードが正しいかを再度ご確認ください。
233	モデムはすでに使用中か、正しく構成されていません。	接続の際に、本製品がはずれて正しく接続されていない可能性があります。差し込み口を再度ご確認ください。 また、パソコンの再起動で回復する可能性もあります。
278	リモートコンピューターが応答しませんでした。	設定ツール、Windows 携帯電話の設定で、接続番号に誤りがある可能性があります。 設定ツール、Windows 携帯電話の設定を確認し、もう一度接続してください。



## メニュー一覧 (Web ブラウザ)

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ ／リストア
言語設定	日本語、English	日本語	○
ホーム			
ステータス			
インターネット情報			
インターネットモード	—	—	—
ネットワーク状態	—	—	—
接続ネットワーク	—	—	—
切断理由／エラー	—	—	—
接続時間	—	—	—
IPv4 アドレス	—	—	—
サブネットマスク	—	—	—
デフォルトゲートウェイ	—	—	—
IPv4 優先 DNS サーバー	—	—	—
IPv4 代替 DNS サーバー	—	—	—
IPv6 アドレス	—	—	—
IPv6 優先 DNS サーバー	—	—	—
IPv6 代替 DNS サーバー	—	—	—
統計情報			
送信データ量	—	—	—
受信データ量	—	—	—
総データ量	—	—	—
クライアント			
接続リスト	—	—	—

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ ／リストア
WAN 設定			
ネットワーク設定			
ネットワーク設定			
ネットワークモード	自動、5G only、4G only	自動	○
ネットワーク検索	自動、手動	自動	○
自動接続	自動接続(ローミング除く)、手動、自動接続	自動接続(ローミング除く)	○
サブネットマスク	Dynamic、Dynamic with ABC、Static	Dynamic	○
サブネットマスク IP	0 ～ 255 の 4 組の半角数字	—	○
プロフィール管理			
新規/編集/削除	16 個まで登録可能です。	—	
プロフィール名	半角英数および記号最大 32 文字 ( , " ; : ¥ & % + ' < > ? を除く)	—	○
認証方式	None、PAP、CHAP	None	○
APN	半角英数最大 62 文字、.(ドット)、-(ハイフン)	—	○
ユーザー名	半角英数および記号最大 64 文字 ( , " ; : ¥ & % + ' < > ? を除く)	—	○
パスワード	半角英数および記号最大 32 文字 ( , " ; : ¥ & % + ' < > ? を除く)	—	○
IP タイプ	IPv4、IPv6、IPv4/v6	IPv4/v6	○
SIM 選択	SIM1、SIM2	SIM1	○
SIM 管理			
優先 SIM	SIM1、SIM2	SIM1	○
自動切替え	有効、無効	無効	○
接続時			
監視時間(分)	3 ～ 10 分	3 分	○
通信時			
電界強度判定	有効、無効	無効	○
電界強度閾値 (dBm)	-70 ～ -130dBm	-100dBm	○
通信断確認 IP アドレス	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	8.8.8.8	○
PING 送信回数 (回)	1 ～ 20 回	3 回	○
監視周期 (分)	1 ～ 5 分	1 分	○
非優先 SIM			
接続時間監視	有効、無効	無効	○
接続時間 (時間)	1～120 時間	1 時間	○
PIN コード管理(SIM1/SIM2)			
PIN コード要求	有効、無効、変更	無効	○
PIN コード	4～8 桁の半角数字	—	○
PIN 自動入力	有効、無効	無効	○
残り試行回数	—	—	—

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ ／リストア
LAN 設定			
DHCP			
DHCP サーバー	有効、無効	有効	○
IP アドレス	192.168.0.1 ~ 192.168.255.254	192.168.1.1	○
サブネットマスク	255.255.255.0 ~ 255.255.255.255	255.255.255.0	○
DHCP IP アドレス範囲	1 ~ 254	2 ~ 254	○
DHCP リース期間	2 ~ 43200	720	○
DNS モード	手動、自動	自動	○
優先 DNS サーバー	0 ~ 255 の 4 組の半角数字	—	○
代替 DNS サーバー	0 ~ 255 の 4 組の半角数字	—	○
スタティック DHCP			
新規/編集/削除	64 個まで登録可能です。	—	—
ホスト名	半角英数 最大 32 文字	—	○
LAN IP アドレス	0 ~ 255 の 4 組の半角数字	—	○
MAC アドレス	6 組の 16 進数 2 桁	—	○
ステータス	ON、OFF	ON	○
NAT			
TCP NAT タイマー(秒)	30 ~ 86400	300	○
UDP NAT タイマー(秒)	30 ~ 86400	300	○
セキュリティ			
DMZ 設定			
DMZ 設定	有効、無効	無効	○
DMZ IP アドレス	0 ~ 255 の 4 組の半角数字	192.168.1.2	○
ポートフォワーディング			
新規/編集/削除	64 個まで登録可能です。	—	—
名前	半角英数および記号最大 31 文字 ( , " ; ¥ & % + ' < > ? を除く)	—	○
WAN ポート番号	1 ~ 65535	—	○
LAN IP アドレス	0 ~ 255 の 4 組の半角数字	—	○
LAN ポート番号	1 ~ 65535	—	○
プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP	○
ステータス	ON、OFF	ON	○

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	バックアップ ／リストア
IP/ポートフィルタ				
	ステータス	無効、ブラックリスト、ホワイトリスト	無効	○
	新規/編集/削除	ブラックリスト:64 個まで登録可能です。 ホワイトリスト:64 個まで登録可能です。	—	—
	LAN IP アドレス	IPv4 : 0～255 の 4 組の半角数字 IPv6 : 8 組の 16 進数 4 桁 ※8 組の番号間は「:」で区切る必要があります。	—	○
	LAN ポート番号	1 ～ 65535	—	○
	WAN IP アドレス	IPv4 : 0 ～ 255 の 4 組の半角数字 IPv6 : 8 組の 16 進数 4 桁 ※8 組の番号間は「:」で区切る必要があります。	—	○
	WAN ポート番号	1 ～ 65535	—	○
	プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP/UDP	○
	ステータス	ON、OFF	ON	○
イーサネット MAC フィルタリング				
	ステータス	無効、ブラックリスト、ホワイトリスト	無効	○
	追加/編集/削除	ブラックリスト:64 個まで登録可能です。 ホワイトリスト:64 個まで登録可能です。	—	—
	ホスト名	半角英数 最大 32 文字	—	○
	MAC アドレス	6 組の 16 進数 2 桁	—	○
	ステータス	ON、OFF	ON	○
WAN Ping ブロック				
	WAN Ping ブロック設定	Ping 応答なし、Ping 応答あり	Ping 応答なし	○
	WAN IP アドレス範囲	0 ～ 255 の 4 組の半角数字	—	○
UPnP				
	ステータス	有効、無効	無効	○

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ ／リストア
セキュリティ			
ユーザー管理			
現在のパスワード	大文字、小文字、数字をそれぞれ 1 文字以上を含む 8～32 文字の半角英数字および記号 ( , " ; ¥ & % + ' < > ? を除く)	—	○
新しいパスワード		—	○
パスワード確認		—	—
ME-PIN			
ME-PIN 設定	有効、無効	無効	○
ME-PIN コード	6 文字の半角数字	—	○
残り試行回数	—	—	—
プライバシーセパレータ			
プライバシーセパレータ	有効、無効	有効	○
システム			
デバイス情報			
デバイス名	—	—	—
ソフトウェアバージョン	—	—	—
ハードウェアバージョン	—	—	—
IMEI	—	—	—
MAC アドレス	—	—	—
シリアル番号	—	—	—
電話番号	—	—	—
デバイス状態			
CPU 使用率	—	—	—
メモリ使用量	—	—	—
システム稼働時間	—	—	—
動作モード			
動作モード	ルーター、USB モデム	ルーター	○
動作温度閾値	Class A(75℃)、Class B(60℃)	Class A(75℃)	○
インタフェース設定			
USB インタフェース	自動、RNDIS、ECM	自動	○
イーサネットインタフェース	有効、無効	無効	○

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ／リストア
SNTP			
現在時刻	—	—	—
ステータス	—	—	—
タイムゾーン	各国のタイムゾーン	Asia/Tokyo	○
時刻フォーマット	12 時間表記、24 時間表記	24 時間表記	○
ネットワーク時刻との自動同期を有効にする	チェックマークあり、チェックマークなし	チェックマークあり	○
時刻同期サーバー1	各 NTP サーバー	ntp.nict.jp	○
時刻同期サーバー2		0.jp.pool.ntp.org	○
時刻同期サーバー3		1.jp.pool.ntp.org	○
時刻同期サーバー4		2.jp.pool.ntp.org	○
時刻同期サーバー5		3.jp.pool.ntp.org	○
夏時間を有効にする	チェックマークあり/チェックマークなし	チェックマークなし	○
ソフトウェアとリセット			
自動再起動			
自動再起動	有効、無効	無効	○
再起動時刻	00:00 ~ 23:00	—	○
モード	日、週(月～日)	—	○
バックアップ/リストア			
ファイル名	バックアップ/リストアのファイルを指定します。	—	—
FW アップデート			
FW 自動アップデート	有効、無効	無効	○
アップデート方式	オンラインアップデート、手動アップデート	手動アップデート	○
現在のソフトウェアバージョン	—	—	—
ファイル名	手動アップデートのときのファームウェアのファイルを選択します。	—	—
再起動/リセット			
再起動	再起動を行います。	—	—
リセット	設定内容をお買い上げ時の出荷時設定の状態に戻します。	—	—
デバイス管理	有効、無効	無効	○
システムログ	—	—	—

## メニュー一覧(UNIX-35GL PC Utility)

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ ／リストア
言語設定	English / 日本語	日本語	○
ホーム			
デバイス情報			
動作モード	—	—	—
電話番号	—	—	—
IMEI	—	—	—
接続状態			
接続状態	—	—	—
エラーコード	—	—	—
Information	—	—	—
バージョン			
FW バージョン	—	—	—
Utility バージョン	—	—	—
セキュリティ			
ME-PIN 設定			
ME-PIN 設定	有効、無効	無効	○
自動入力	—	—	—
ME-PIN コード	6 文字の半角数字	—	○
SIM1-PIN 設定			
SIM1-PIN 設定	有効、無効	無効	○
自動入力	—	—	—
SIM1-PIN コード	4 ～ 8 桁の半角数字	—	○
SIM2-PIN 設定			
SIM2-PIN 設定	有効、無効	無効	○
自動入力	—	—	—
SIM2-PIN コード	4 ～ 8 桁の半角数字	—	○

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ ／リストア
ネットワーク			
ネットワークモード	Auto、5G Only、4G Only	Auto	○
サブネットマスク	Dynamic、Dynamic with ABC、Static	Dynamic	○
サブネットマスク IP	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	—	○
SIM 管理			
優先 SIM	SIM1、SIM2	SIM1	○
自動切替え	有効、無効	無効	○
接続時			
監視時間(分)	3 ～ 10 分	3 分	○
通信時			
電界強度判定	有効、無効	無効	○
電界強度閾値 (dBm)	-70 ～ -130dBm	-100dBm	○
通信断確認 IP アドレス	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	8.8.8.8	○
PING 送信回数 (回)	1 ～ 20 回	3 回	○
監視周期 (分)	1 ～ 5 分	1 分	○
非優先 SIM			
接続時間監視	有効、無効	無効	○
接続時間 (時間)	1 ～ 120 時間	1 時間	○



メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ ／リストア
システム			
自動インストール	有効、無効	有効	○
動作温度閾値	Class A(75℃)、Class B(60℃)	Class A(75℃)	○
FW 更新			
自動更新	自動更新有効、自動更新無効	自動更新無効	○
FW 更新(FOTA)	—	—	—
プロフィール設定			
プロフィール名	半角英数および記号最大 32 文字 ( , " ; ¥ & % + ' < > ? を除く)	—	○
APN	半角英数最大 62 文字、.(ドット)、-(ハイフン)	—	○
IP タイプ	IPv4、IPv6、IPv4/v6	IPv4/v6	○
認証方式	None、PAP、CHAP	None	○
ユーザー名	半角英数および記号最大 64 文字 ( , " ; ¥ & % + ' < > ? を除く)	—	○
パスワード	半角英数および記号最大 32 文字 ( , " ; ¥ & % + ' < > ? を除く)	—	○
SIM セレクト	SIM1、SIM2	SIM1	○
FW 更新(Local)	—	—	—
動作モード	ルーター、USB モデム	ルーター	○
ブリッジモード	有効、無効	無効	○
デバイス設定			
バックアップ	—	—	—
リストア	—	—	—
デバイス制御			
再起動	—	—	—

## 仕様

製品名		UNX-35GL
外形寸法		108mm x 40mm x 16mm
重量		約 70g
電源		USB プラグ(USB Type-A) :5V DC IN 5V(Type-C)ポート :5V
消費電力  ※1	最大平均 (最大送信時)	ルーターモード(イーサネット OFF)/USB モデムモード: 3.25W (5V 0.65A) ルーターモード(イーサネット ON): 4.0W (5V 0.8A)
	瞬間最大	ルーターモード(イーサネット OFF)/USB モデムモード: 5.0W (5V 1.0A ) ルーターモード(イーサネット ON): 7.5W (5V 1.5A)
通信速度  ※2	WAN インターフェース	4G(LTE) ●受信時最大:195Mbps (256QAM) ●送信時最大:75Mbps (64QAM) 5G SA ●受信時最大:220Mbps (256QAM) ●送信時最大:122Mbps (256QAM)
USB		USB 2.0 :480Mbps
有線 LAN 方式		IEEE802.3ab(1000BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)
最大同時接続台数		2 台 (USB:1 台、有線 LAN:1 台)
環境条件 (動作時)  ※3	温度	ルーターモード ●Class A : -10℃～45℃ (イーサネット ON) : -10℃～50℃ (イーサネット OFF) ●Class B : -10℃～35℃ USB モデムモード ●Class A : -10℃～50℃ ●Class B : -10℃～35℃
	湿度	10～90%RH

※1 電源電圧: 5V、周囲温度: 25℃での条件での規定となります。

この条件以外でのご使用では、数値が変動する場合があります。

※2 表記の通信速度はシステム上の最大速度となります。通信速度は通信事業者のネットワークの仕様、通信環境、ネットワークの混雑状況などに応じて変化します。

※3 結露しないこと

## 本製品の比吸収率 (SAR) などについて

### 本製品の比吸収率 (SAR) について

この機種[UNX-35GL]は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末のSARの最大値は1.56W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から0.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。  
総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

(※1)技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則14条の2)で規定されています。

(※2)5G/4G(LTE)と同時に使用可能な無線機能を含みます。

## FCC Regulations

This device complies with part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution:

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

## Radio Wave Exposure Information

This Product meets the government's requirements for exposure to radio waves.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons regardless of age or health.

FCC RF Exposure Information and Statement the SAR limit of USA (FCC) is 1.6 W/kg averaged over one gram of this Device MiFi (FCC ID : SLKUNX-35GL ) has been tested against this SAR limit. The SAR value of the device is 1.58 W/kg, meet the standards. SAR information on this can be viewed on-line at <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/>.

Please use the device FCC ID number for search. This device was tested for typical operations 5mm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, 5mm separation distance should maintain to the user's bodies.

## European RF Exposure Information

This device meets guidelines for exposure to radio waves. Your device is a 5G Portable Modem. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves. These guidelines were developed by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), an independent scientific organization, and include safety measures designed to ensure the safety of all users, regardless of age and health. The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level during operation can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network. The SAR limit adopted by Europe is 2.0W/kg averaged over 10grams of tissue, the SAR value of the device is 1.713W/kg at the separation distance of 5mm from the body, meet the standards. For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal and positioning the device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

## Regulatory conformance

### ● Statement

Hereby, NCXX Inc. declares that this device UNX-35GL is in compliance with the following.

Directive: RED 2014/53/EU, RoHS 2011/65/EU,

The full text of the EU declaration of conformity information and most recent information about accessories & software are available at the following internet address: <https://www.ncxx.co.jp/>

### ● Frequency Bands and Power

Frequency bands in which the radio equipment operates: Some bands may not be available in all countries or all areas.

Please contact the local carrier for more details.

LTE Band : 1/2/3/4/5/7/8/18/19/20/26/28/41/42: 25.7 dBm,

5G NR : n1/n3/n28/n41/n77/n78/n79: 25.7 dBm,

## 輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

## 知的財産権について

### ■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して受け取った画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して受け取った他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

### ■ 商標について

- Microsoft®、Windows®、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標または登録商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Ethernet およびイーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- USB Type-C™は USB Implementers Forum の商標です。
- LTE は欧州電気通信標準協会(ETSI)の登録商標です。
- Google、Google Chrome は、Google LLC の商標です。
- Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、® マークを省略している場合があります。

## その他

- 本書では各 OS(日本語版)を次のように略して表記しています。

Windows 11 は、Microsoft® Windows® 11(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。

Windows 10 は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。

## 携帯電話のリサイクルについて

携帯電話事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となった携帯電話の本体、バッテリー、充電器をブランド/メーカーを問わず、モバイル・リサイクル・ネットワークのマーク(下記マーク)のある店舗で、無償で回収し、リサイクルを行っています。



**モバイル・リサイクル・ネットワーク**

携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

やむを得ず廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。  
梱包材、同梱物についても分別にご協力ください。

製造元：株式会社 ネクス

〒025-0323 岩手県花巻市棚ノ目 2-32-1

URL <https://www.ncxx.co.jp/>

サポートデスク

TEL 050-3101-3755 (一般電話・公衆電話・携帯電話共通)